

3.2 アンケート調査

地域における買い物困難状況、買い物弱者支援策（買い物の利便性を向上させる事業）への住民ニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施した。

3.2.1 調査対象地区

調査対象地区は、以下に挙げる3地区とした。

表 3.9 住民ニーズ調査対象地区

	市町村名	地区名	配布対象世帯数
1	市川市	八幡6丁目	829
2	茂原市	緑町	598
3	君津市	久留里地区	960

3.2.2 アンケート調査票の作成

調査目的を達成するため、以下の内容を含むアンケート調査票を設計・作成した。

ア) 日常の買い物困難状況およびそれに対する対応状況	
イ) 宅配・移動販売等の利用状況（理由・頻度・品目・不満点）	等

アンケート調査票の設計にあたっては、学識経験者の助言も踏まえて作成した。作成した住民アンケート票を次頁以降に示す。

「買い物環境に関するアンケート調査」へのご協力をお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年、バス路線の廃止、商店街の衰退、大型スーパーの閉店等により、日常の買い物が不自由となる問題が生じてきています(一般に、「買い物弱者問題」などと呼ばれています)。

そこで、千葉県商工労働部では、県内の買い物環境の現状を把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートは、県内の住宅団地や農村部などの中から、年齢構成や地域の特色を勘案の上、地区を選定し、それぞれ 500～1000 世帯程度の皆様にご協力をお願いしています。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、何卒ご協力をお願いいたします。

敬白

千葉県商工労働部 経営支援課

【調査の方法について】

別紙のアンケートに差し支えない範囲でお答え下さい。

お忙しいところ大変恐縮ですが、アンケートは返信用の封筒にお入れいただき、2月28日(月)までに投函をお願いいたします。

なお、回収した調査票はその内容を集計・整理し、本年度末に作成予定の報告書に記載する予定としておりますが、調査票は無記名であり、回答者が特定されることはありません。

【お問合せ先】

○アンケート全般についてのお問合せ先

千葉県商工労働部 経営支援課 商業・大型店室 担当：城之内
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1番1号
TEL 043-223-2824 FAX 043-227-4757

○アンケートの記入方法や回収等についてのお問合せ先(業務委託先)

株式会社総合環境計画 担当：小笠原、田中
〒135-0042 東京都江東区木場3-14-4 はが木場三ビル
TEL 03-5639-1951 FAX 03-5639-1540

買い物環境に関するアンケート調査 調査票

【ご記入方法について】

- ・調査票は世帯単位で配布しております。アンケートへのご回答はご家族（世帯）全体のことをお考えに入れて回答して下さい。
- ・記入は、出来るだけご家族（世帯）内で主に食料品や日用品等の買い物をされる方をお願いします。
- ・選択肢のある質問は、該当する番号に○をつけて下さい。
- ・記入欄を設けている質問については、記入欄に直接回答をご記入下さい。

●アンケートにお答えいただく方ご自身およびご家族（世帯）についての質問

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。

【性別】	ア) 男性	イ) 女性	【年齢】	() 才
------	-------	-------	------	-------

問2 あなたの家族（世帯）構成について教えてください。

○ご家族（世帯）の人数

() 人 ※ご回答いただく方も含めた人数をご記入下さい

○ご家族（世帯）の構成（あてはまるものに○印を付けて下さい。）

ア) 単身 イ) 夫婦 ウ) 2世代以上で同居 エ) その他

●ご家族（世帯）の普段の買い物に関する質問

問3 普段、食料品や日用品の買い物に利用するお店やサービスについて教えてください。（あてはまるもの全てに○を付けて下さい。）

ア) 個人商店	イ) 地元の商店街
ウ) スーパー・ショッピングセンター	エ) コンビニエンスストア
オ) ホームセンター・ドラッグストア	カ) 百貨店
キ) 生協や農協などの協同購入・宅配	ク) 食材宅配サービス（料理メニューの食材）
ケ) 商店の御用聞き・配達	コ) 移動販売（移動販売トラックや行商など）
サ) 通信販売（インターネットや電話、FAXなどでの注文と配達）	
シ) 地元の直売所	ス) その他 ()

問4 普段、食料品や日用品の買い物に外に出かける頻度はどのくらいですか？（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

ア) ほぼ毎日	イ) 週に4~5回程度	ウ) 週に2~3回程度
エ) 週に1回程度	オ) 2週間に1回程度	カ) ほとんど行かない
キ) その他 ()		

オ), カ) を選んだ方は、差し支えなければ、あまり買い物に外に出かけない理由をご記入下さい。

【あまり買い物に外に出かけない理由】

問 5 食料品や日用品の買い物ができるお店の中でよく出かけるお店はどこですか？（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

- | | |
|--------------------|---------------|
| ア) 個人商店 | イ) 地元の商店街 |
| ウ) スーパー・ショッピングセンター | エ) コンビニエンスストア |
| オ) ホームセンター・ドラッグストア | カ) 百貨店 |
| キ) 地元の直売所 | ク) その他 () |
| コ) お店には出かけない | |

問 6 あなたのご自宅から問 5 で回答したお店（場所）までの移動手段と所要時間について教えてください。（主な交通手段1つに○を付け、所要時間をご記入下さい。）

- | | | | | |
|-------------------|--------|---------|-------|---------|
| ア) 徒歩 | イ) 自転車 | ウ) 路線バス | エ) 電車 | オ) タクシー |
| カ) 自動車・バイク（自分で運転） | | | | |
| キ) 自動車・バイク（家族が運転） | | | | |
| ク) お店の送迎サービスを利用 | | | | |
| ケ) その他 () | | | | |

で () 分程度

●買い物環境に関する質問

問 7 普段、食料品や日用品の買い物において、不便や不安を感じていることはありますか？（あてはまるもの全てに○を付けて下さい。）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ア) 近くにお店がない | イ) 歩いて買い物に行くのが大変（又は不安） |
| ウ) バスや電車などの交通の便が悪い | エ) 交通費が高い |
| オ) 自分で車の運転が出来ない | カ) お店の営業時間が合わない |
| キ) その他 () | ク) 特に不便や不安はない |

問 8 食料品や日用品の買い物において、以前に比べて不便になったことはありますか？（あてはまるもの全てに○を付けて下さい。）

- | |
|----------------------------------|
| ア) 近くにあったお店がなくなった |
| イ) バスや電車などの交通機関がなくなった、または便が悪くなった |
| ウ) 健康状態が悪化し、以前より買い物に行くのが大変になった |
| エ) 介護や育児によって買い物に出かけにくくなった |
| オ) その他 () |
| カ) 特に不便になったことはない |

問 12 普段の買い物は楽しいですか？（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

- | | | |
|-------------|----------|--------|
| ア) 楽しい | イ) まあ楽しい | ⇒①の質問へ |
| ウ) あまり楽しくない | エ) 楽しくない | ⇒②の質問へ |
| オ) どちらでもない | カ) わからない | |

①ア)「楽しい」、イ)「まあ楽しい」とお答えになった方はその理由を教えてください。（あてはまるものに最大3つまで○を付けて下さい。）

- ア) いろいろ商品を見たり、選んだりするのが楽しい
 イ) お店で知り合いに会ったり、話をしたりするのが楽しい
 ウ) お店の店員と話したり、顔なじみになったりするの楽しい
 エ) 買い物することで気分転換になる
 オ) 買い物するために外に出かけるのが楽しい
 カ) その他 ()

②ウ)「あまり楽しくない」、エ)「楽しくない」とお答えになった方はその理由を教えてください。（あてはまるものに最大3つまで○を付けて下さい。）

- ア) 共同購入や通販で済ませているが、本当は買い物に出かけたいから
 イ) 交通の便が悪く、お店に行くのが大変だから
 ウ) 買い物に行くのが大変だから（健康状態が悪い、時間がないなど）
 エ) 普段買い物するお店の品ぞろえや品質が悪いから
 オ) 普段買い物するお店のサービスが悪いから
 カ) その他 ()

●買い物環境全般に関する自由意見

問 13 買い物環境、買い物支援サービス等について、ご意見があればご自由にお書き下さい。

ご協力、ありがとうございました。

3.2.3 アンケートの配布・回収

(1) 実施期間及び方法

- 配布日 : ○ 市川地区：平成 23 年 2 月 16 日（ポスティング配布）
○ 茂原地区：平成 23 年 2 月 17 日（ポスティング配布）
○ 君津地区：平成 23 年 2 月 17 日（自治会による配布）
- 回収期間：平成 23 年 2 月 16 日～平成 23 年 2 月 28 日（郵送回収）

(2) 配布・回収結果

上記の方法により実施したアンケート調査の配布・回収結果を以下に示す。

表 3.10 住民アンケート調査実施状況

項目	市川地区 (八幡 6 丁目地区)	茂原地区 (緑町地区)	君津地区 (久留里地区)
配布・回収方法	ポスティング配布 郵送回収	ポスティング配布 郵送回収	自治会による配布 郵送回収
世帯数	829 世帯	598 世帯	960 世帯
配布数※	657 票	592 票	960 票
回収数	234 票 (回収率：35.6%)	205 票 (回収率：34.6%)	405 票 (回収率：42.2%)

※市川地区の配布数が世帯数と大きく異なるのは、集合住宅の建て替えによる実数減少による。その他、市川地区、茂原地区では事務所等で住人不在、受け取り拒否等による。君津地区は自治会の協力を得て配布を実施したため、配布実数は把握していない。

3.2.4 アンケートの集計・分析

(1) 単純集計結果

回収されたアンケート結果について設問ごとに集計し、分析した。

1) 問1 あなたの性別と年齢を教えてください。

○ 回答者の性別

- どの地区でも回答者は女性の割合が高い。
- アンケート調査票では「ご家族（世帯）内で主に食料品や日用品等の買い物をされる方」に記入をお願いする旨を記載していることによるものと考えられる。
- 一方、それに従って記入があったと仮定すれば、男性が主に買い物をする世帯も相当数存在することとなる。

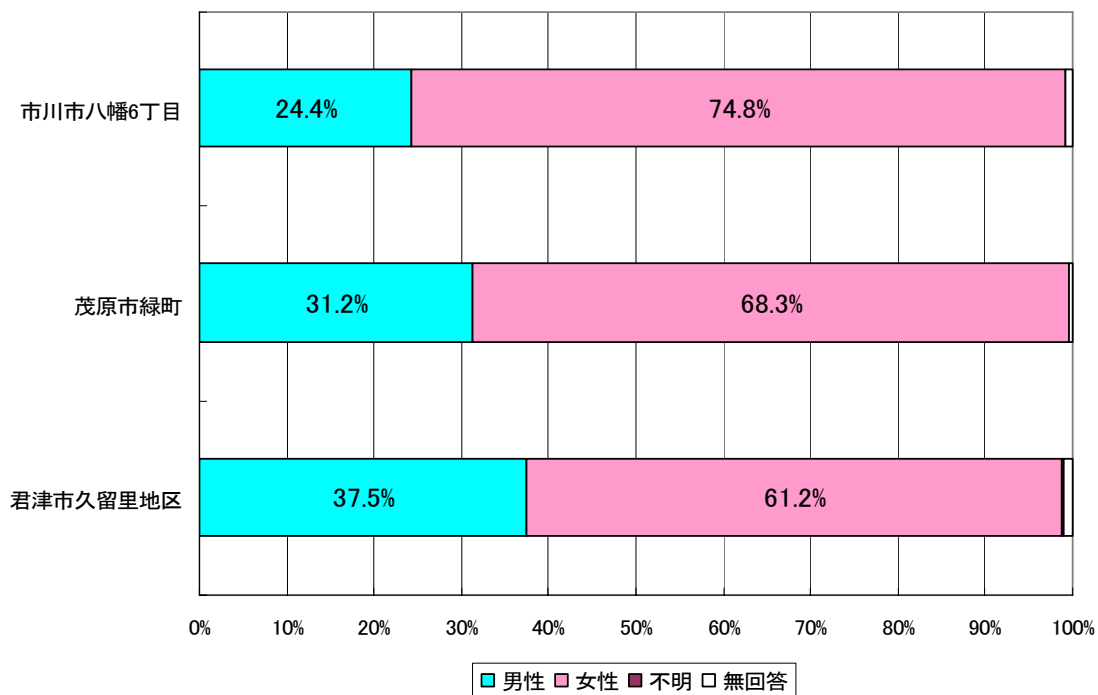


図 3.4 回答者の性別

○ 回答者の年齢

- 全ての地区において、回答者の内訳は70歳以上が30%以上を占め、60歳以上では約60%、50歳以上では約80%と高齢の方の回答の占める割合が多くなっている。
- 70歳以上の割合は、地区高齢化率（市川市八幡6丁目：30%、茂原市緑町：31%）とほぼ対応している。

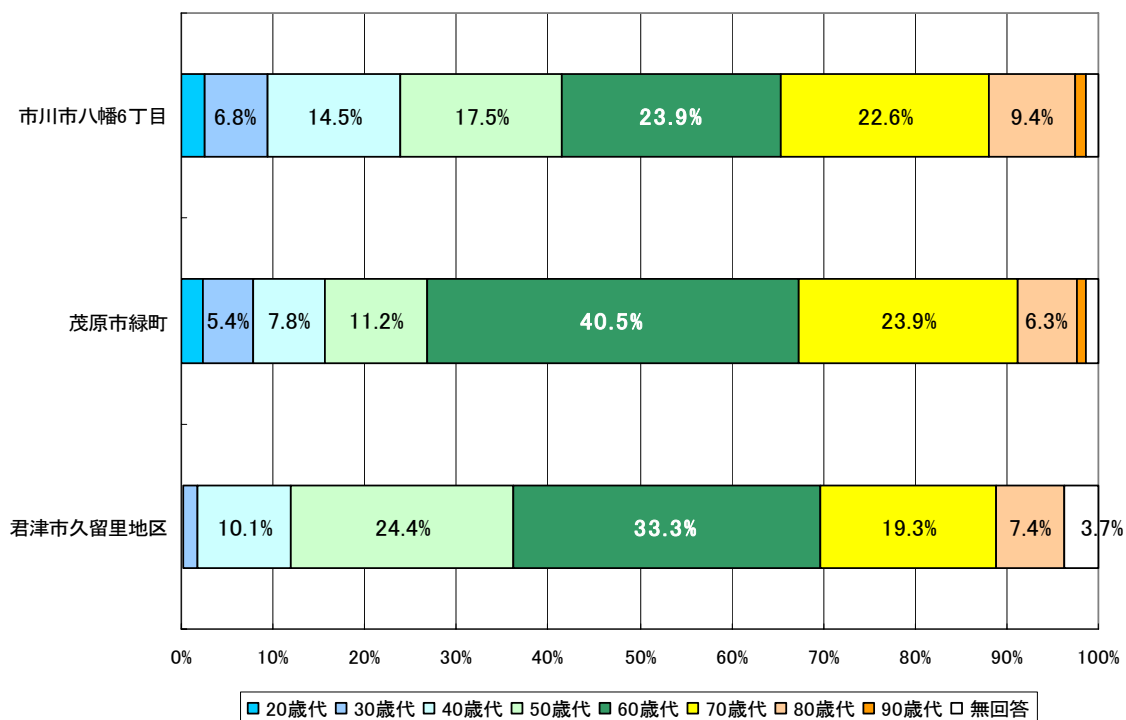


図 3.5 回答者の年齢

2) 問2 あなたの家族（世帯）構成について教えてください。

○ご家族（世帯）の人数

- 市川地区、茂原地区では、全体的に少人数の家族（世帯）構成の割合が高く、1人暮らし世帯が15%程度、2人世帯が35～50%程度を占める結果となっている。
- 君津地区では1人暮らし世帯は10%程度と少なく、大人数の世帯が相対的に多くなっており、60%以上が3人以上の世帯となっている。

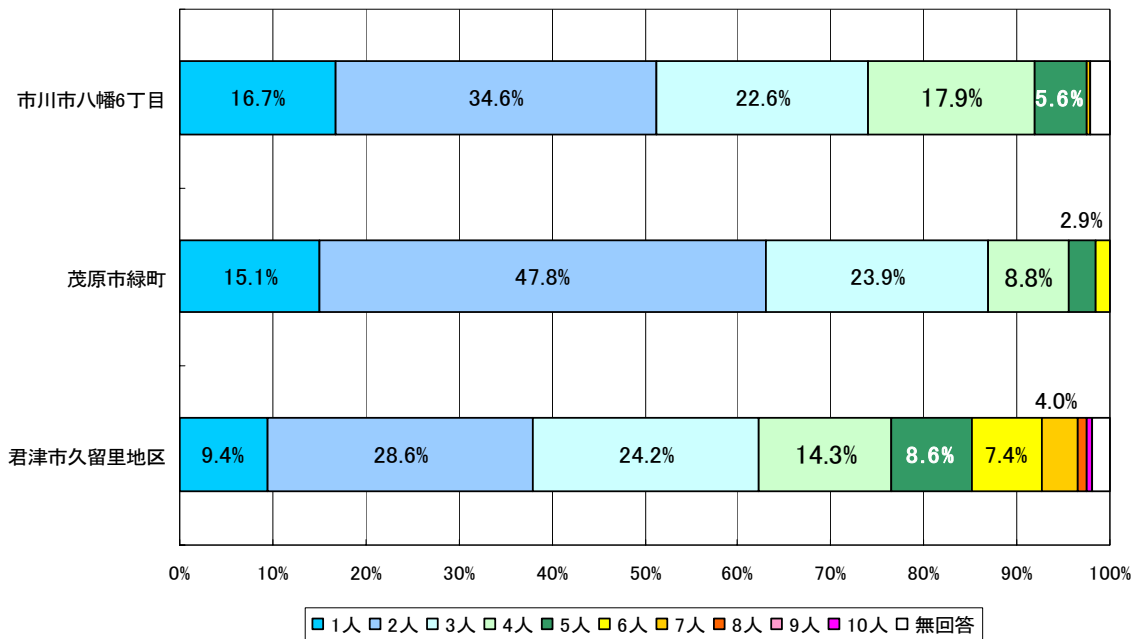


図 3.6 家族（世帯）の人数

○ご家族（世帯）の構成（あてはまるものに○印を付けて下さい。）

- 市川地区、茂原地区では、単身世帯が15%程度、夫婦のみが40～50%を占める結果となっている。
- 君津地区では単身世帯は10%程度と少なく、一方で2世代以上での同居が約45%と他の地区よりも割合が高い。

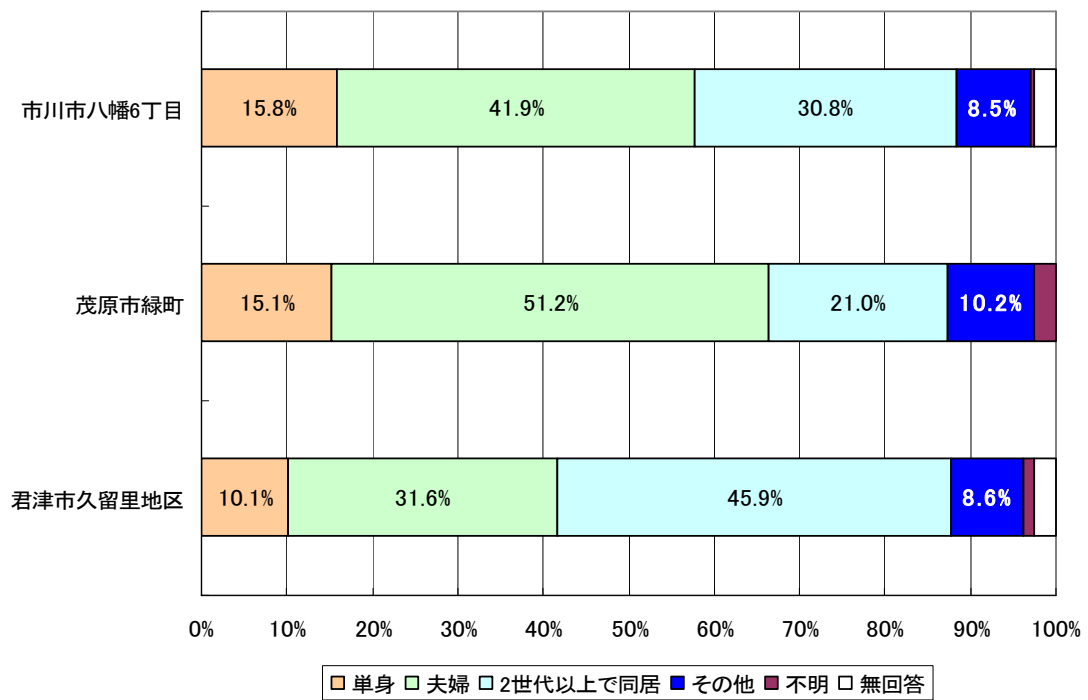


図 3.7 家族（世帯）構成

3) 問3 普段、食料品や日用品の買い物に利用するお店やサービスについて教えてください。
 (あてはまるもの全てに○を付けて下さい。)

- どの地区においてもスーパー・ショッピングセンターでの利用が最も多く、次いでホームセンター・ドラッグストアが多くなっており、大型店舗が多く利用されていることが分かる。
- 個人商店や地元の商店街の利用は市川、君津地区で約30%程度、茂原地区では若干低く20%程度となっている。
- 協同購入・宅配を利用している人は25%程度、通信販売を利用している人は20%程度となっている。
- 食材宅配サービス、御用聞きの利用率はいずれも低い結果となっている。
- 移動販売についてはいずれの地区でも利用が見られる。市川地区、茂原地区では割合は低いものの、君津地区においては15.3%と比較的高い割合となっている。
- 茂原地区、君津地区では地元の直売所の利用が多くなっている。実態調査では、これらの地区で直売所の立地が確認されており、地域性の現れた結果といえる。

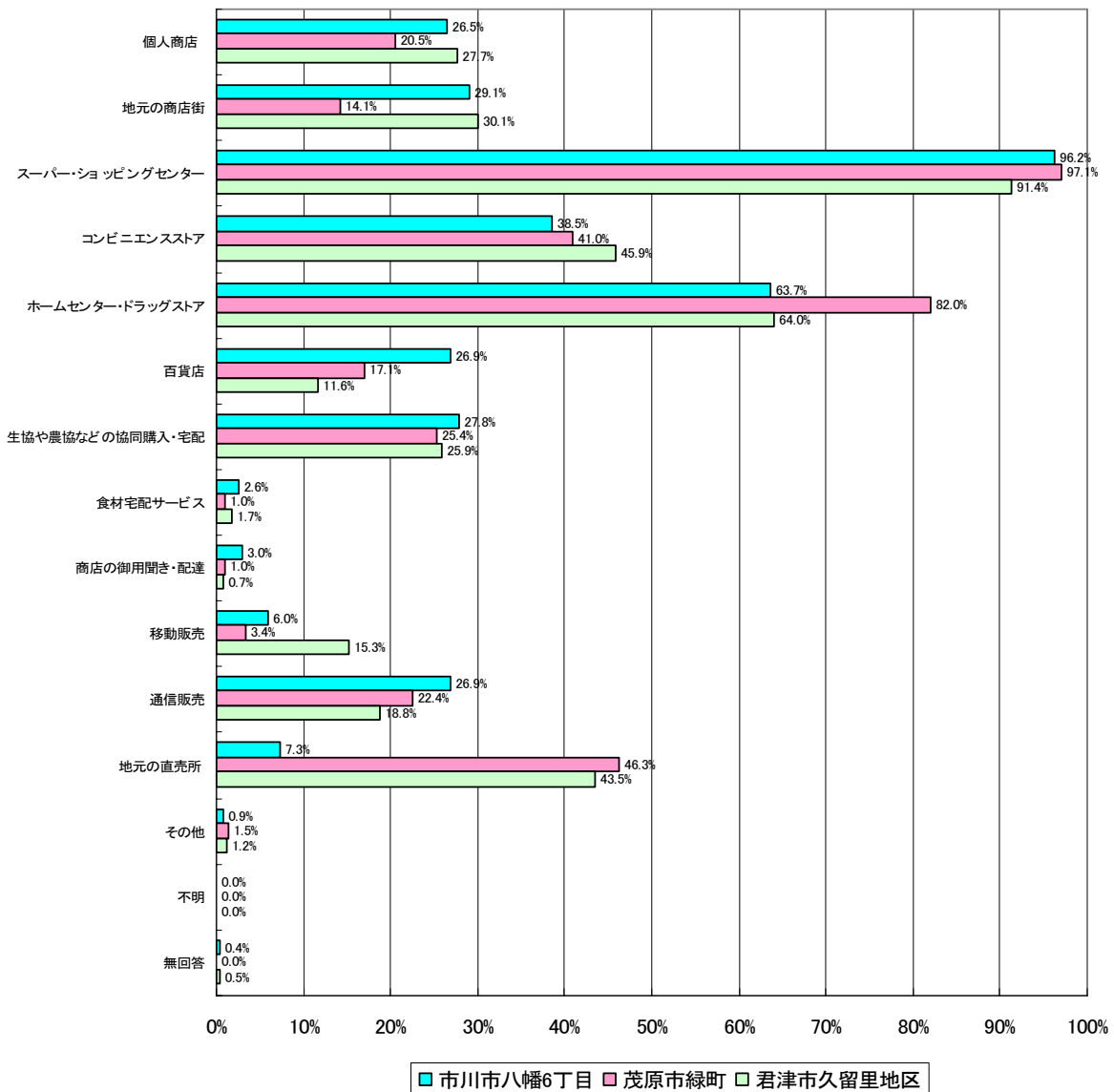


図 3.8 普段、食料品や日用品の買い物に利用するお店やサービス (複数回答)

4) 問4 普段、食料品や日用品の買い物に外に出かける頻度はどのくらいですか？（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

- 市川地区、茂原地区では、ほぼ毎日買い物をする世帯が30%前後となっている。週に4～5回程度、週に2～3回程度を含めると、これら2地区ではほぼ90%となり、比較的高い頻度で外に出かける買い物行動が行われている。
- 一方、君津地区では、週に2～3回程度以上の頻度で買い物をする世帯が70%に満たず、週に1回程度～ほとんど行かないと回答した世帯の合計が約30%と、他の地区に比べて買い物に外に出かける頻度が低い状況となっている。これは、君津地区（久留里地区）の立地条件によるところが大きいと考えられ、買い物環境としてはこれら3地区の中で最も買い物困難度が高い地区といえる。

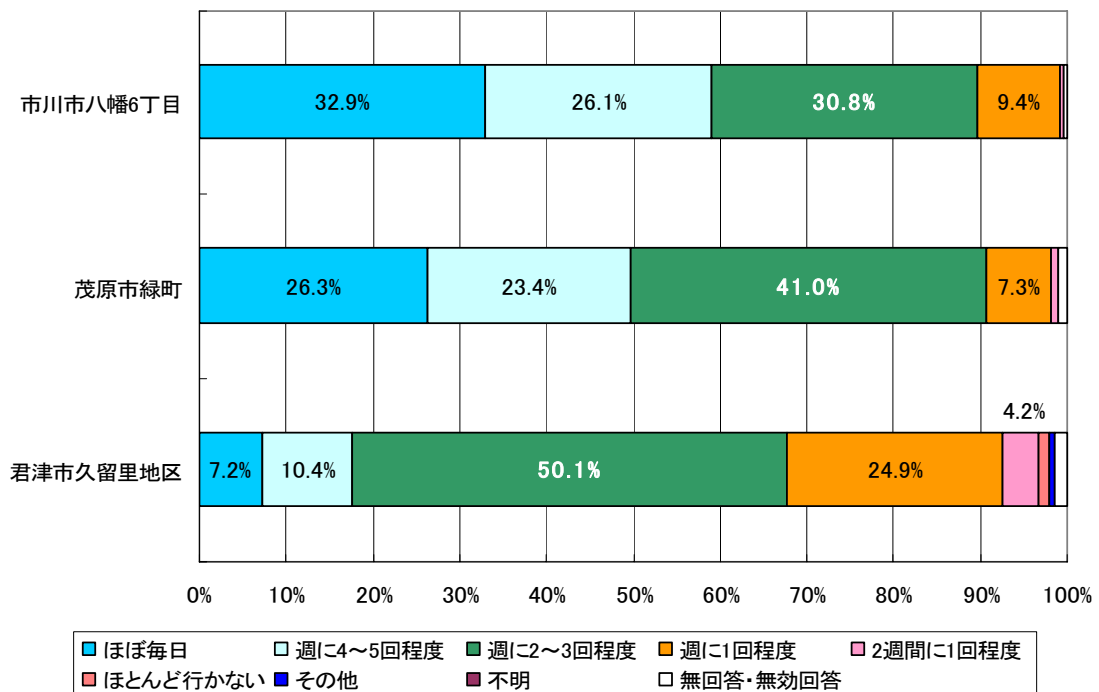


図 3.9 普段、食料品や日用品の買い物に外に出かける頻度

5) 問5 食料品や日用品の買い物ができるお店の中でよく出かけるお店はどこですか？（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

- いずれの地区においても、スーパー・ショッピングセンターでの買い物の割合が高く60～70%程度を占めている。
- ホームセンター・ドラッグストアを加えると、全ての地区で70%を超え、大型店での買い物が多くなっている傾向がうかがえる。
- よく出かけるお店として個人商店、地元の商店街を選択した回答者は少なく、割合は10%程度もしくはそれ未満となっている。
- 茂原地区・君津地区では、地元の直売所と回答した世帯が一定数（7%前後）存在している。
- 君津地区では「コンビニエンスストア」と回答した世帯が7.4%と他より高い。実態調査で確認された君津地区でのコンビニエンスストアは2箇所であり、ニーズの高さがうかがえる結果となっている。

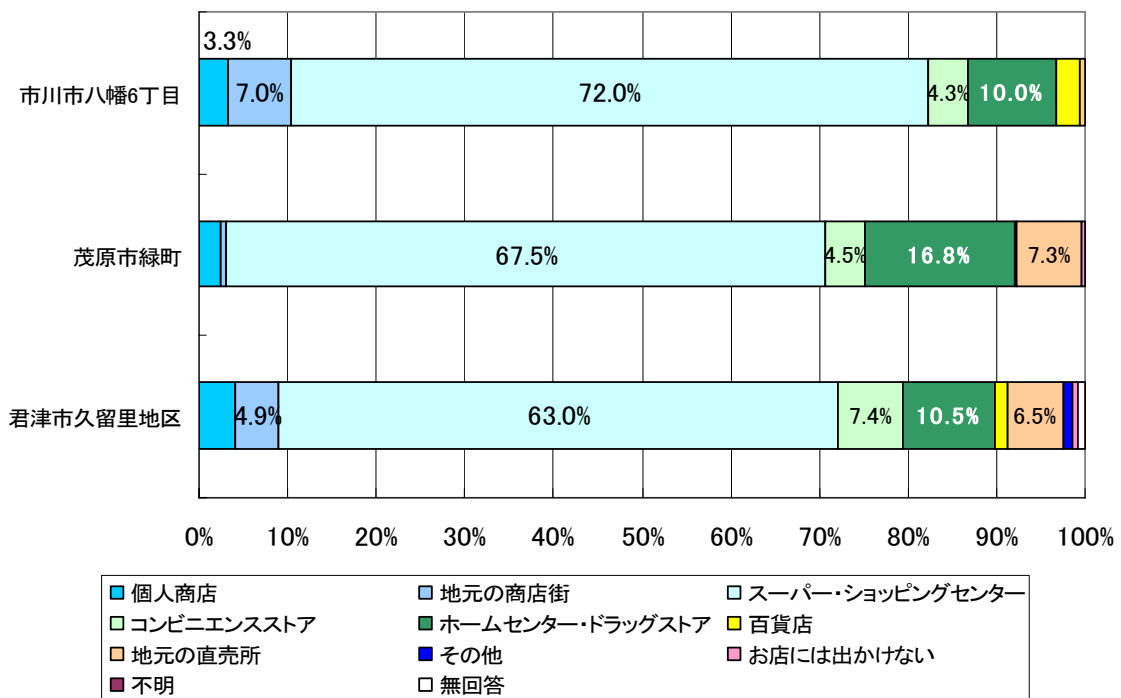


図 3.10 食料品や日用品の買い物ができるお店の中でよく出かけるお店

6) 問 6 あなたのご自宅から 問 5 で回答したお店（場所）までの移動手段と所要時間について教えてください。（主な交通手段1つに○を付け、所要時間をご記入下さい。）

○ 移動手段について

- 市川地区では徒歩、自転車での移動の割合が75%を上回っている。
- 茂原地区では自動車・バイク（自分で運転）での移動が50%程度と高く、徒歩、自転車での移動の割合は35%程度となっている。
- 君津地区では自動車・バイク（自分で運転）での移動が70%程度と非常に高く、自動車・バイク（家族が運転）での移動を加えると、約90%に達する。
- また、君津地区では少数ながらもタクシーの利用が見られる。
- 交通手段の面からは、買い物困難度は市川<茂原<君津となっている。
- 「お店の送迎サービスを利用」との回答はどの地区からも得られなかった。

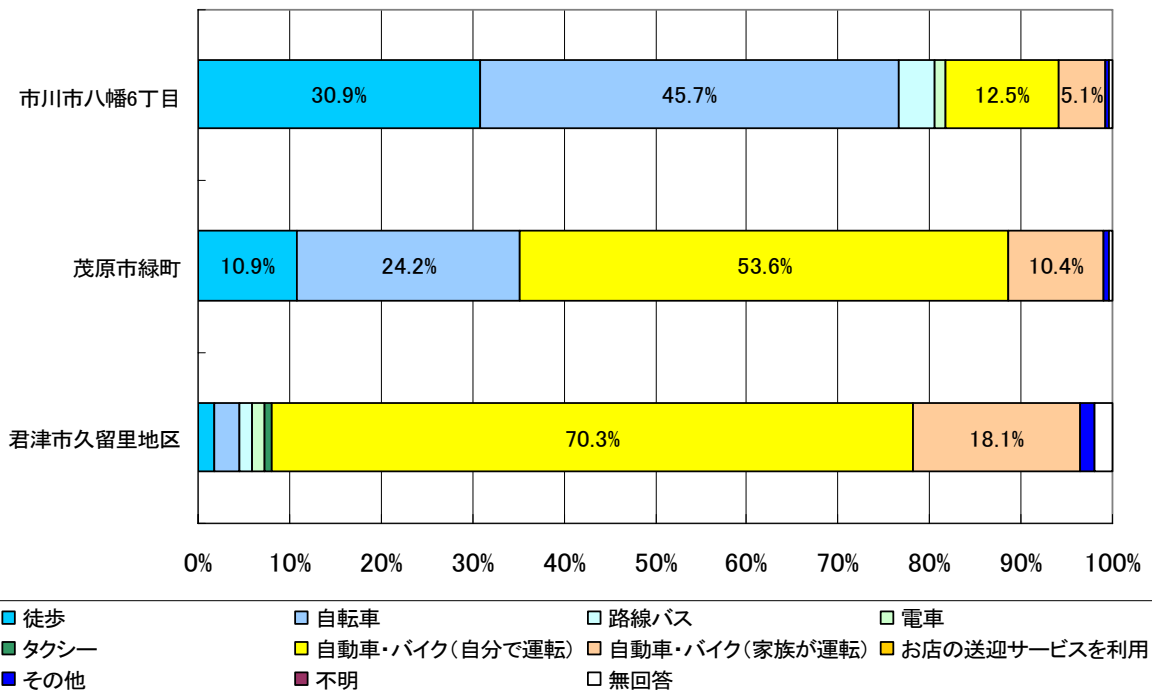


図 3.11 食料品や日用品の買い物ができるお店の中でよく出かけるお店までの移動手段

○ 所要時間について

- 市川地区、茂原地区では所要時間 10 分以内の世帯が 60%を超えている。
- 一方、君津地区では 30%に満たない結果となっている。
- 君津地区では主な交通手段が車やバイクであり、その上所要時間ももっとも長くなっていることから、買い物困難度は高いといえる。

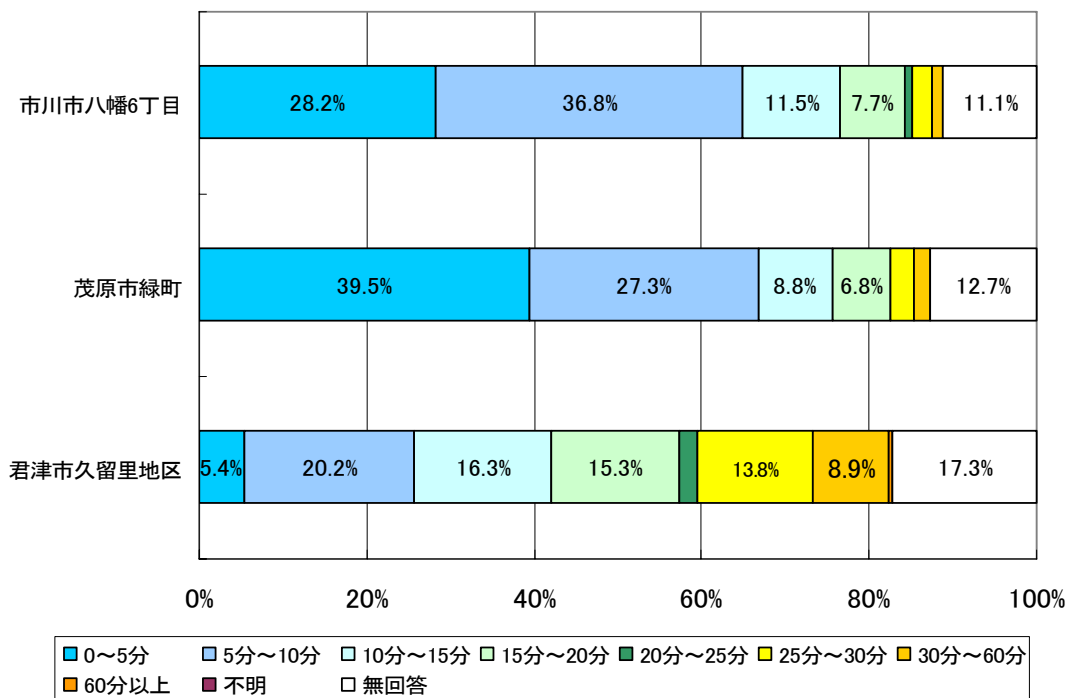


図 3.12 食料品や日用品の買い物ができるお店の中でよく出かけるお店までの所要時間

7) 問7 普段、食料品や日用品の買い物において不便や不安を感じていることはありますか？
 (あてはまるもの全てに○を付けて下さい。)

- 市川、茂原地区では「特に不便や不安はない」と回答した世帯が60%前後と多かったのに対し、君津地区では「近くにお店がない」と回答した世帯が60%以上、「交通の便が悪い」と回答した世帯が30%以上と、買い物に不便や不安を感じており、買い物困難度が高い傾向を示している。
- 「歩いて買い物に行くのが大変(または不安)」と感じている割合は3地区とも20%程度と同程度となっている。

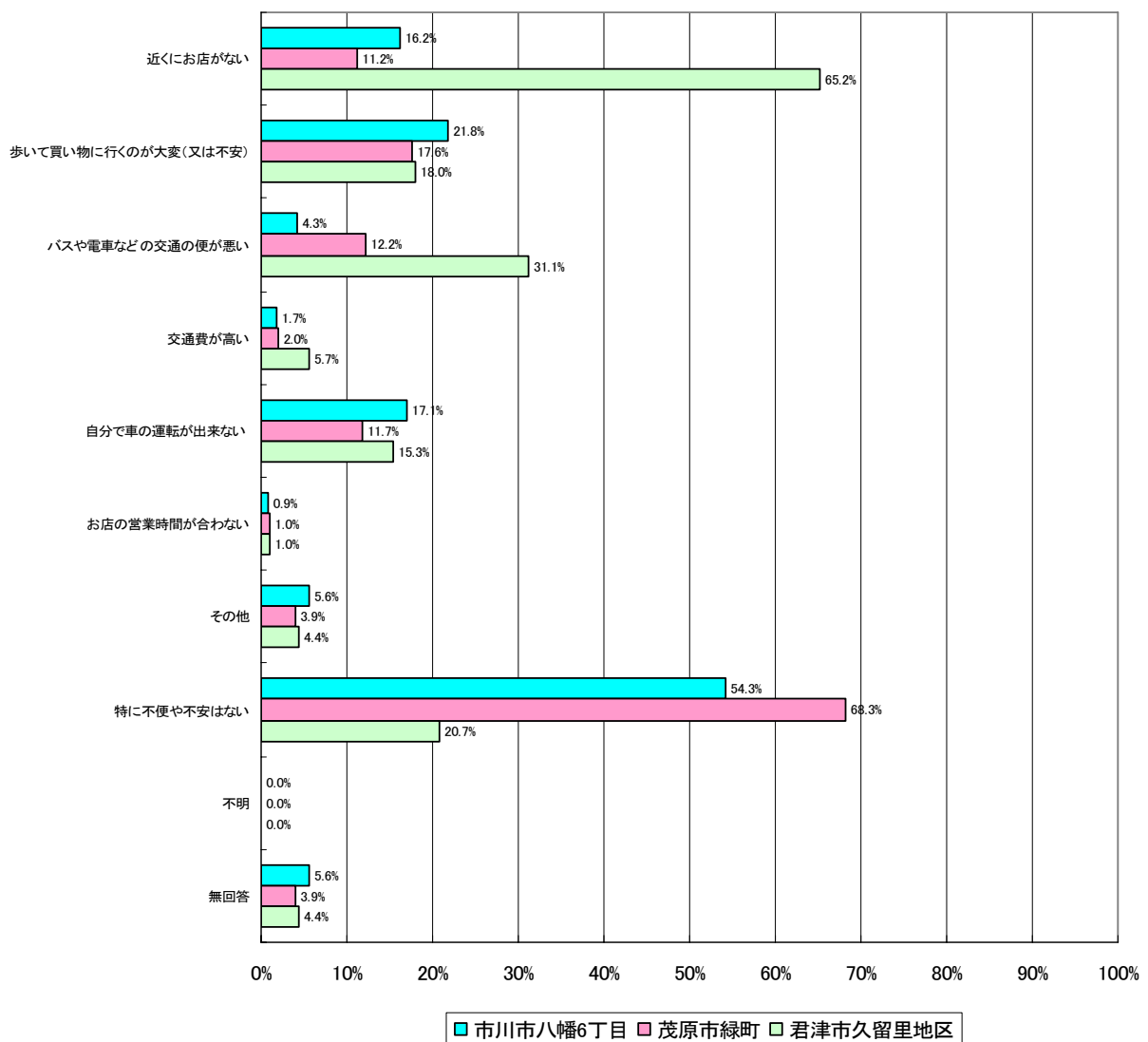


図 3.13 普段、食料品や日用品の買い物において不便や不安を感じていること (複数回答)

8) 問8 食料品や日用品の買い物において、以前に比べて不便になったことはありますか？
(あてはまるもの全てに○を付けて下さい。)

- 不便になったと感じていることとしては、いずれの地区でも「近くにあったお店がなくなった」との回答が多くなっており、近くに買い物できる店舗が存在することが買い物環境を考える上で、重要な視点であることがうかがえる。
- 中でも、君津地区では「近くにあったお店がなくなった」の回答率が4割近い数字となっており、元々買い物環境が悪い地区において、近くの店舗の撤退という、住民にとって、さらに買い物環境の悪化につながるが生じていることがわかる。
- 市原、茂原地区では「特に不便になったことはない」が過半数を占め、住民は、買い物環境はさほど悪化していないと感じているといえる。

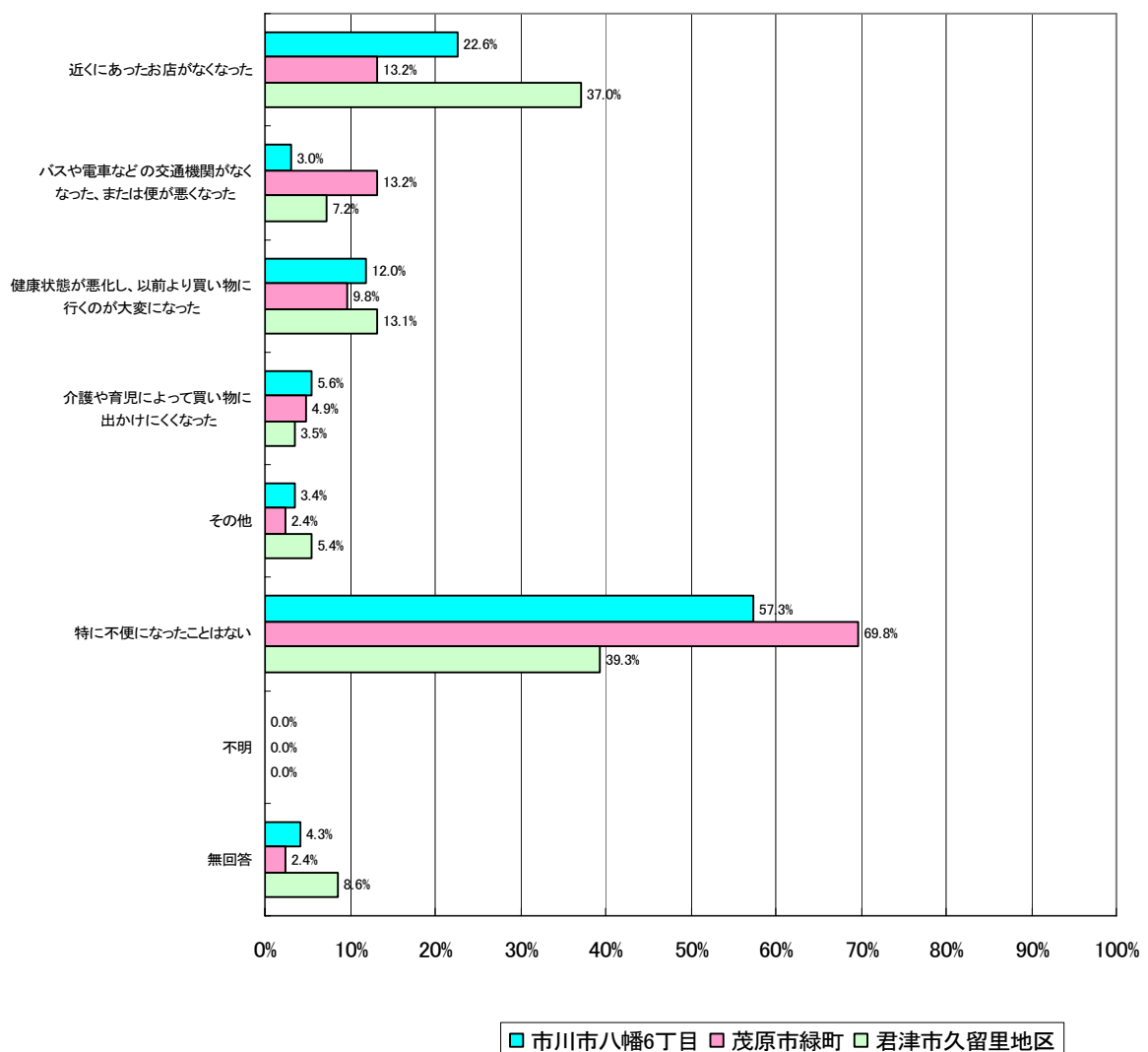


図 3.14 食料品や日用品の買い物において、以前に比べて不便になったこと（複数回答）

9) 問9 もし、次のようなお店やサービスがあったら利用しますか？また、利用しない場合は、その理由を教えてください。（※すでにある場合を含みます。）

①ご自宅から徒歩10分以内で、日々の食料品や日用品をひととおり買える小型店舗（1つに○）

- 「すでにあり、利用している」と回答した世帯は市川地区と茂原地区でそれぞれ53.0%、39.6%と高く、君津地区では6.1%と低くなっており、各地区の商業施設の立地状況を反映した結果となっている。
- 「すでにあり、利用している」と「もし、あれば利用する」を合わせると、75~80%程度となり、当該業態に対するニーズは高い。
- 君津地区では、「もし、あれば利用する」と回答した世帯が約75%と非常に高く、当該業態の店舗のニーズが非常に高いことが分かる。
- 「すでにあるが利用していない」、「もし、あっても利用しない」と回答した世帯の合計は市川、茂原、君津がそれぞれ、16.7%、16.4%、5.9%と、君津以外の2地区で高い割合であり、他の選択肢（大型店等）の存在がうかがえるものとなっている。

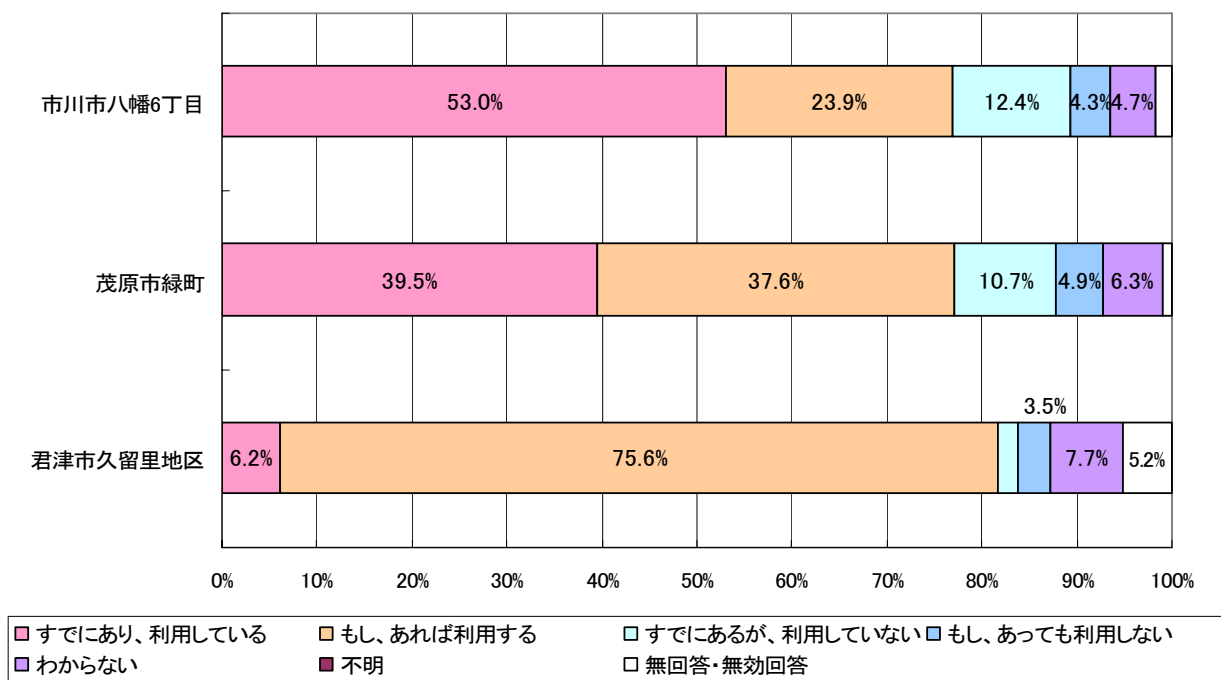


図 3.15 自宅から徒歩10分以内に立地する小型店舗に対するニーズ

○イ), エ) を選ばれた場合、利用しない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- 3 地区とも総じて「他によい店がある」、「品揃えが悪い」、「価格が高い」の割合が高い。これは、比較対照としてスーパー・ショッピングセンター等の大型店の存在が考えられ、小型店舗のデメリットが現れた結果となっている。
- 君津地区においては、上記 3 項目に加え「商品の品質に不安がある」の割合が他地区と比べて高い傾向となっている。
- 「すでにあるが利用していない」「もしあっても利用しない」に対する回答であり、それらの回答は比較的少数であるが、小型店舗を展開する際に工夫が必要になる点(ニーズ)と捉えることもできる。

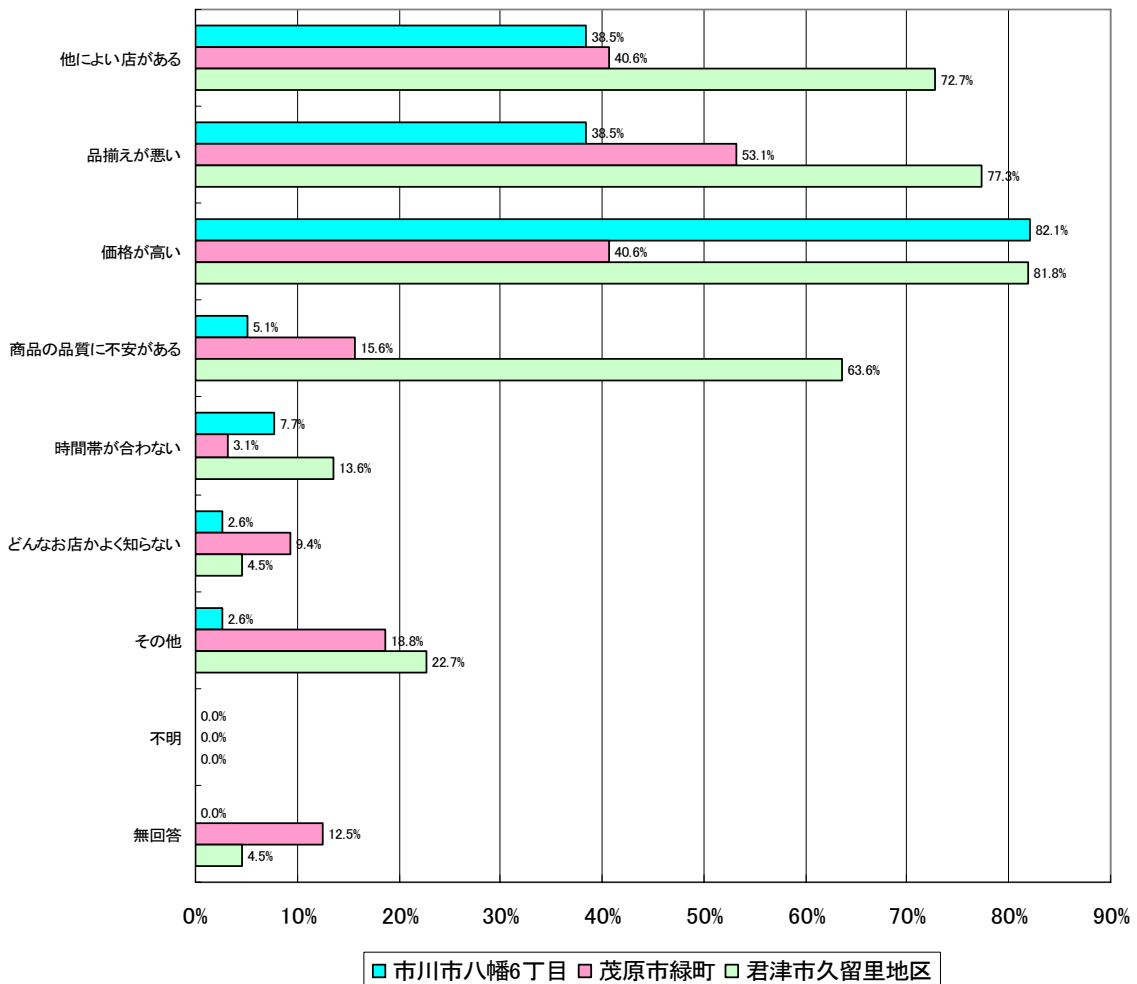


図 3.16 自宅から徒歩 10 分以内に立地する小型店舗を利用しない理由 (複数回答)

②移動販売車・移動スーパー（1つに〇）

- 利用にかかわらず「すでにある」と答えた世帯は市川、茂原地区が10%程度であるのに対し、君津地区では約70%であり、日常的に移動販売が営業されていることがうかがえる結果となっている。
- 別途実施した事業者アンケート調査では、移動販売を実施している事業者をアンケート対象として抽出することが困難であったが、3地区のそれぞれで「すでにある」との回答が得られており、実際には相当数の事業者が存在することが示唆される結果である。
- 「利用している」または、「あれば利用する」と答えた世帯は市川、茂原の各地区で20%以上、君津地区で約30%と、君津地区でのニーズがやや高い結果となっている。
- 市川、茂原の各地区では「すでにあるが、利用していない」、「もし、あっても利用しない」と答えた世帯は、全ての地区で「利用している」または、「あれば利用する」と回答した世帯を上回っており、移動販売へのニーズを感じていない世帯の方が多い結果となっている。
- 君津地区では「すでにあるが、利用していない」との回答が約50%を占め、現在営業されている移動販売と住民ニーズのミスマッチが生じている結果となっている。

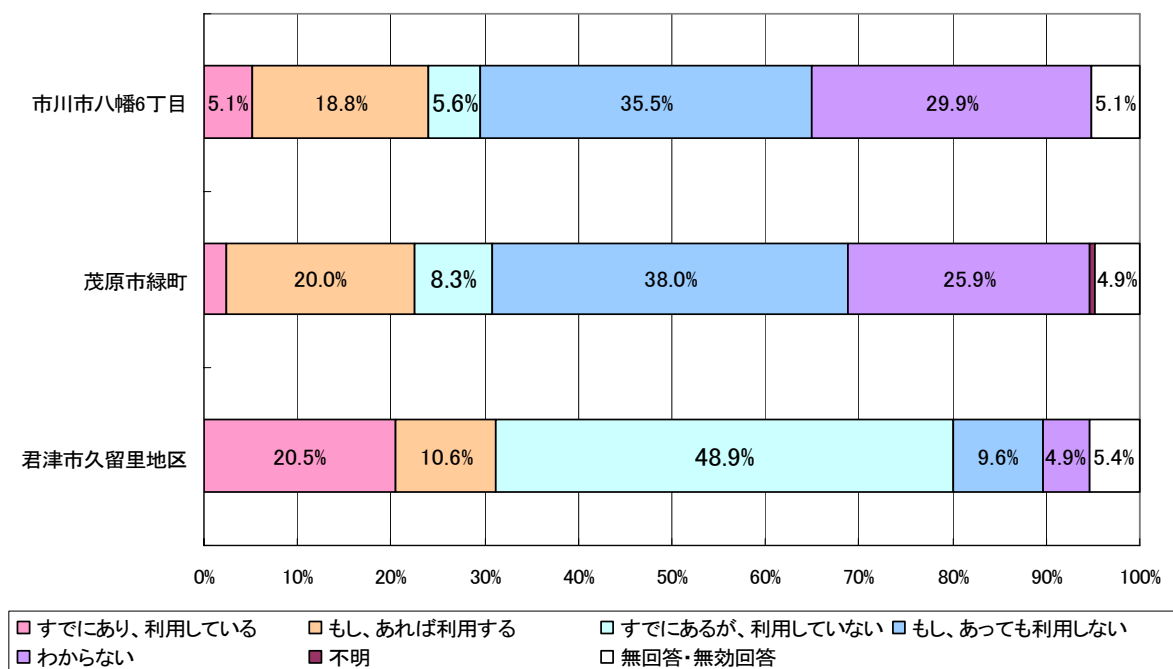


図 3.17 移動販売・移動スーパーに対するニーズ

○イ), エ) を選ばれた場合、利用しない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- 移動スーパーの印象は地区ごとに大きな差が見られなかった。
- 特に君津地区の回答は、前設問で「すでにあるが、利用していない」と答えた世帯48.9%の意見が反映されており、他の地区よりも実態を反映した回答といえる。
- 移動販売・移動スーパーは、価格、品揃え、品質等の面を単純比較すると、どうしても固定型の店舗に劣る点があることは否めないが、どちらかといえば、商業施設の立地面、交通手段の面等で自ら買い物に出かけるのが困難な層をターゲットとして展開する事業と捉え、否定的な面よりもニーズの面をクローズアップして展開するのが適している業態といえる。

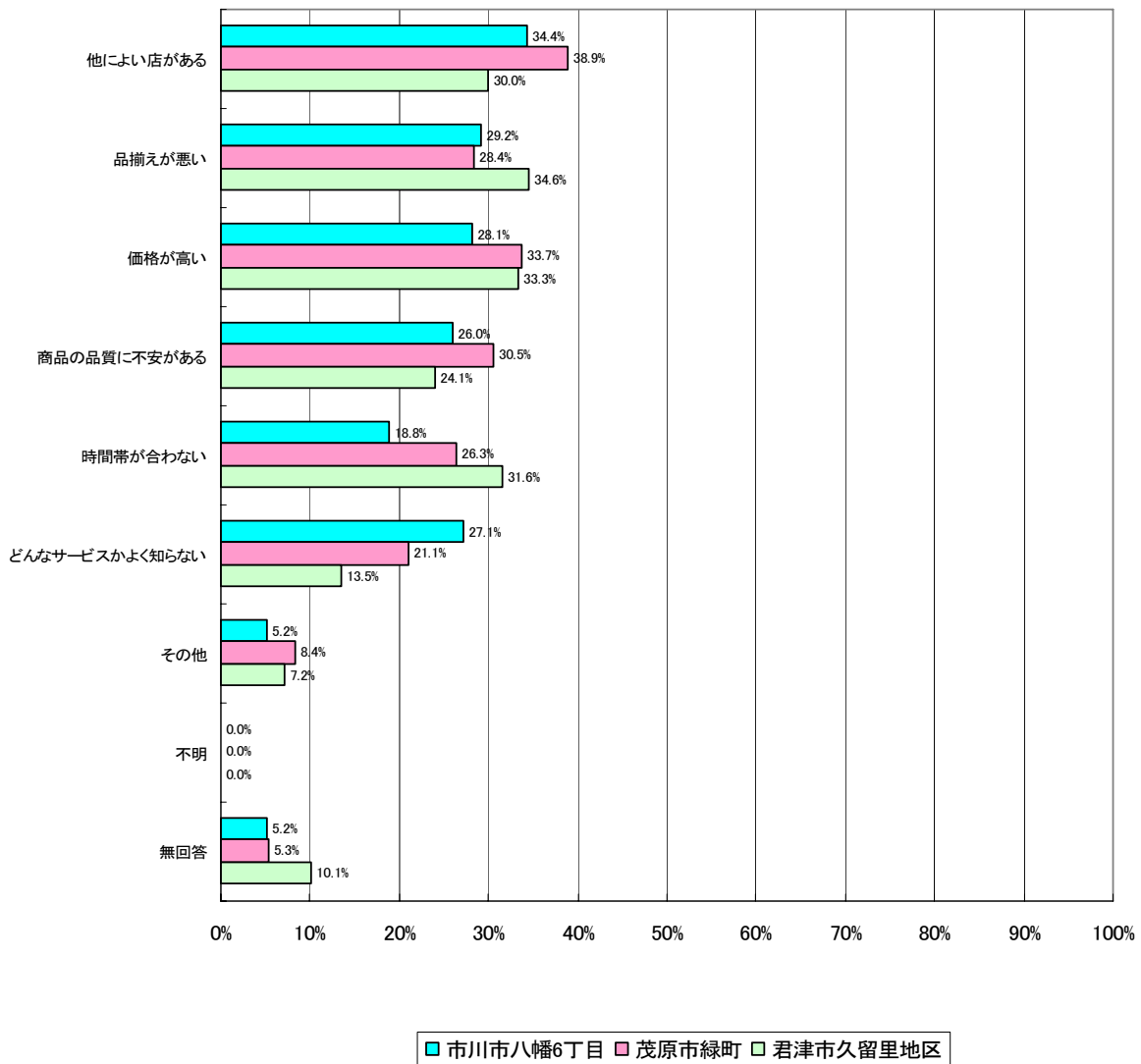


図 3.18 移動販売・移動スーパーを利用しない理由（複数回答）

③御用聞きやお店・商店街で購入した商品の配達サービス（1つに〇）

- 利用にかかわらず「すでにある」と回答のあった世帯は、市川地区で約27%、君津地区で約16%、茂原地区で約8%と地区によってサービスの提供に差が見られる。
- 「利用している」または「あれば利用する」と答えた世帯は、20~35%程度となっており、2~3割程度の世帯においてニーズがあるサービスとなっている。
- 市川地区・茂原地区では、「すでにあるが、利用しない」または「もし、あっても利用しない」と回答した世帯が、「利用している」または「あれば利用する」と答えた世帯を上回った。
- 君津地区では、「利用している」または「あれば利用する」と回答した世帯（約35%）が、若干ではあるが、「すでにあるが、利用しない」または「もし、あっても利用しない」と答えた世帯を上回っており、他地区よりもニーズは高い。

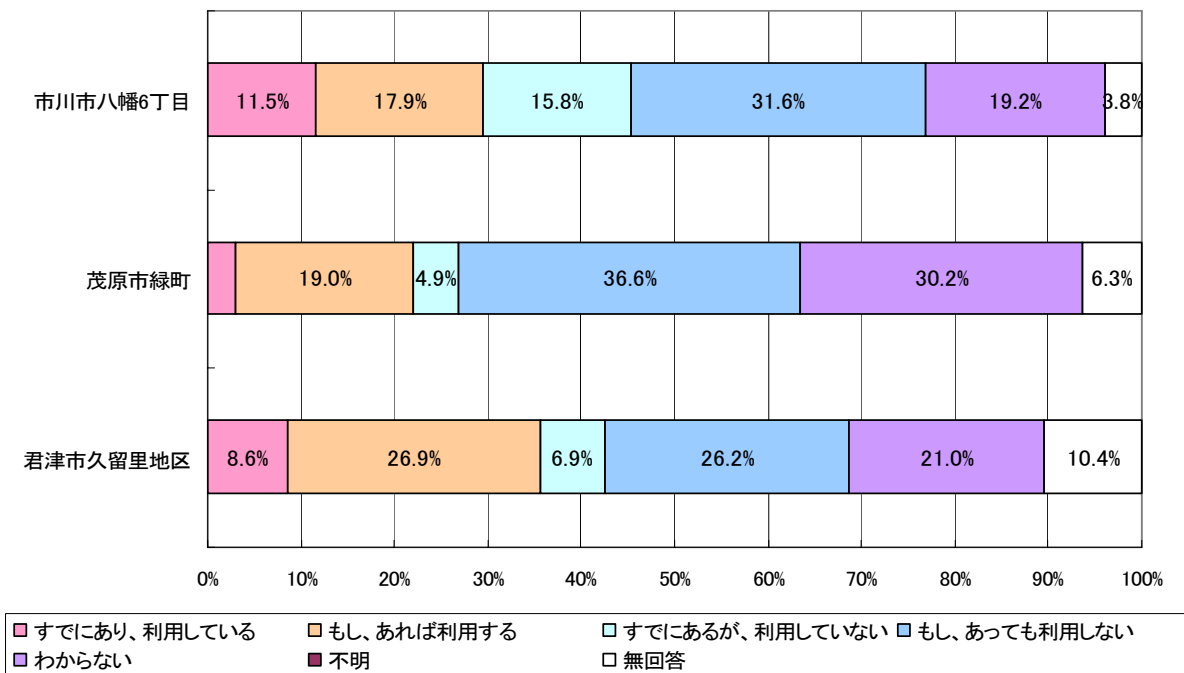


図 3.19 御用聞き・配達サービスに対するニーズ

○イ), エ) を選ばれた場合、利用しない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- 3地区とも「必要性を感じない」が最も多く、現時点では、御用聞きや商品の配達サービスにニーズを感じていない層が相当数存在することがわかる。
- 一方、価格面や時間面を利用しない理由に挙げている世帯もある程度あり、サービス内容の見直しによって利用する可能性のある、“一定の潜在ニーズ層”も存在するといえる。

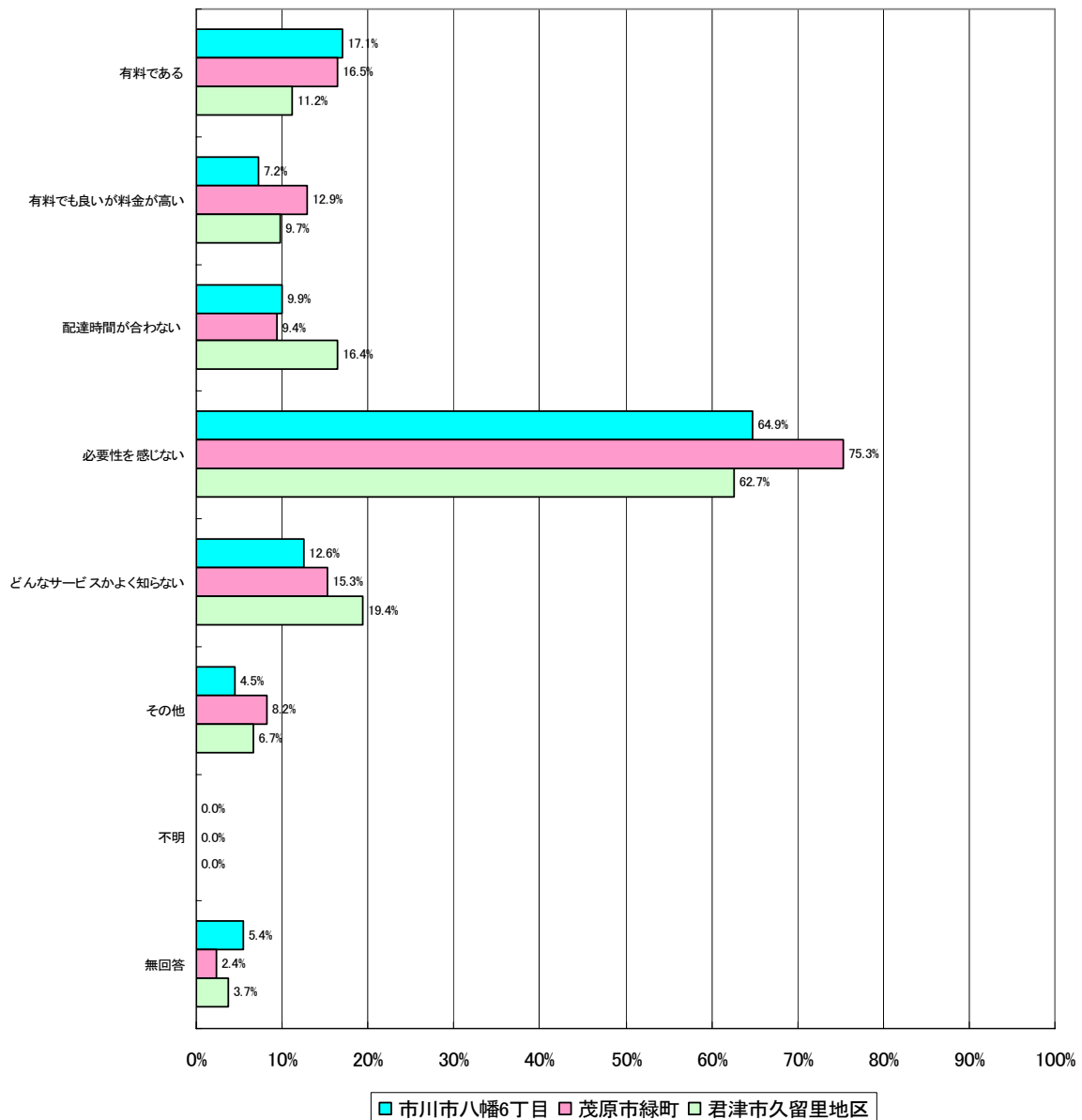


図 3.20 御用聞き・配達サービスを利用しない理由（複数回答）

④買い物に出かける時の送迎サービス（1つに〇）

- 利用にかかわらず「すでにある」と答えた世帯は非常に少ない結果となっている。ただし、少数ながらも「すでにある」との回答が得られていることから、サービスの存在が十分に周知されていない可能性も考えられる。
- 「利用している」または「あれば利用する」と答えた世帯は、25～40%程度となっており、3割程度の世帯においてニーズがあるサービスといえる。
- 市川地区・茂原地区では、「すでにあるが、利用しない」または「もし、あっても利用しない」と回答した世帯が、「利用している」または「あれば利用する」と答えた世帯を上回っている。
- 君津地区では、「利用している」または「あれば利用する」と回答した世帯（約39%）が、若干ではあるが、「すでにあるが、利用しない」または「もし、あっても利用しない」と答えた世帯を上回っており、他地区よりもニーズは高い。

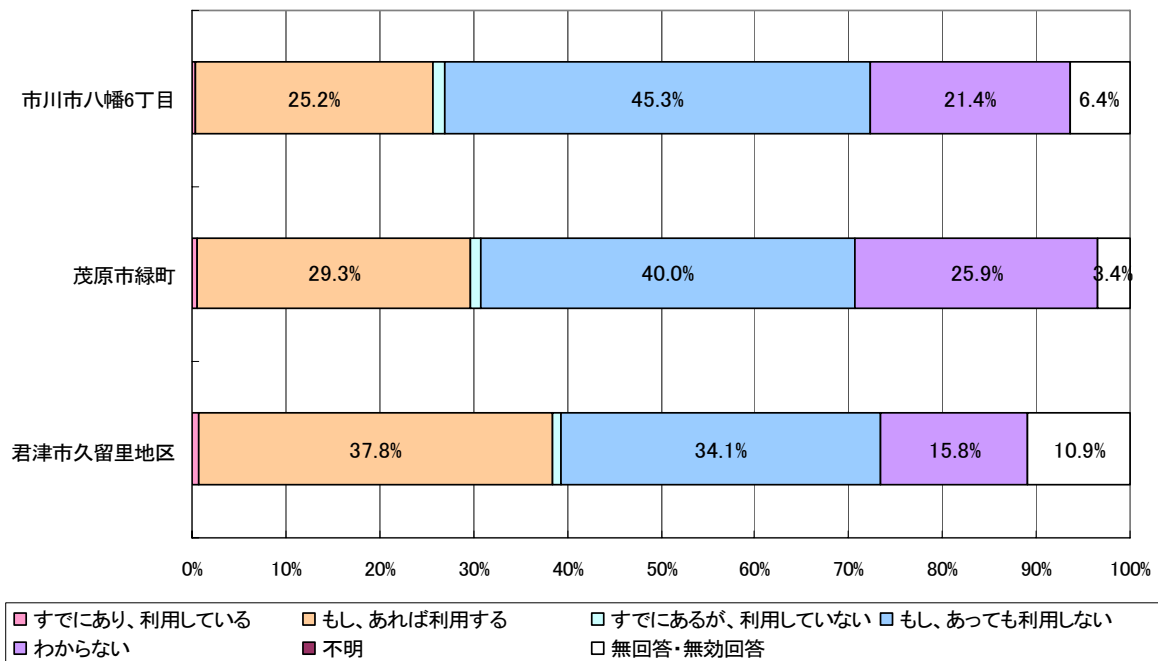


図 3.21 送迎サービスに対するニーズ

○イ), エ) を選ばれた場合、利用しない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- 3 地区とも「必要性を感じない」が最も多く、現時点では、送迎サービスにニーズを感じていない層が相当数存在することがわかる。
- 一方、価格面や時間面を利用しない理由に挙げている世帯もある程度あり、サービス内容の見直しによって利用する可能性のある、“一定の潜在ニーズ層”も存在するといえる。

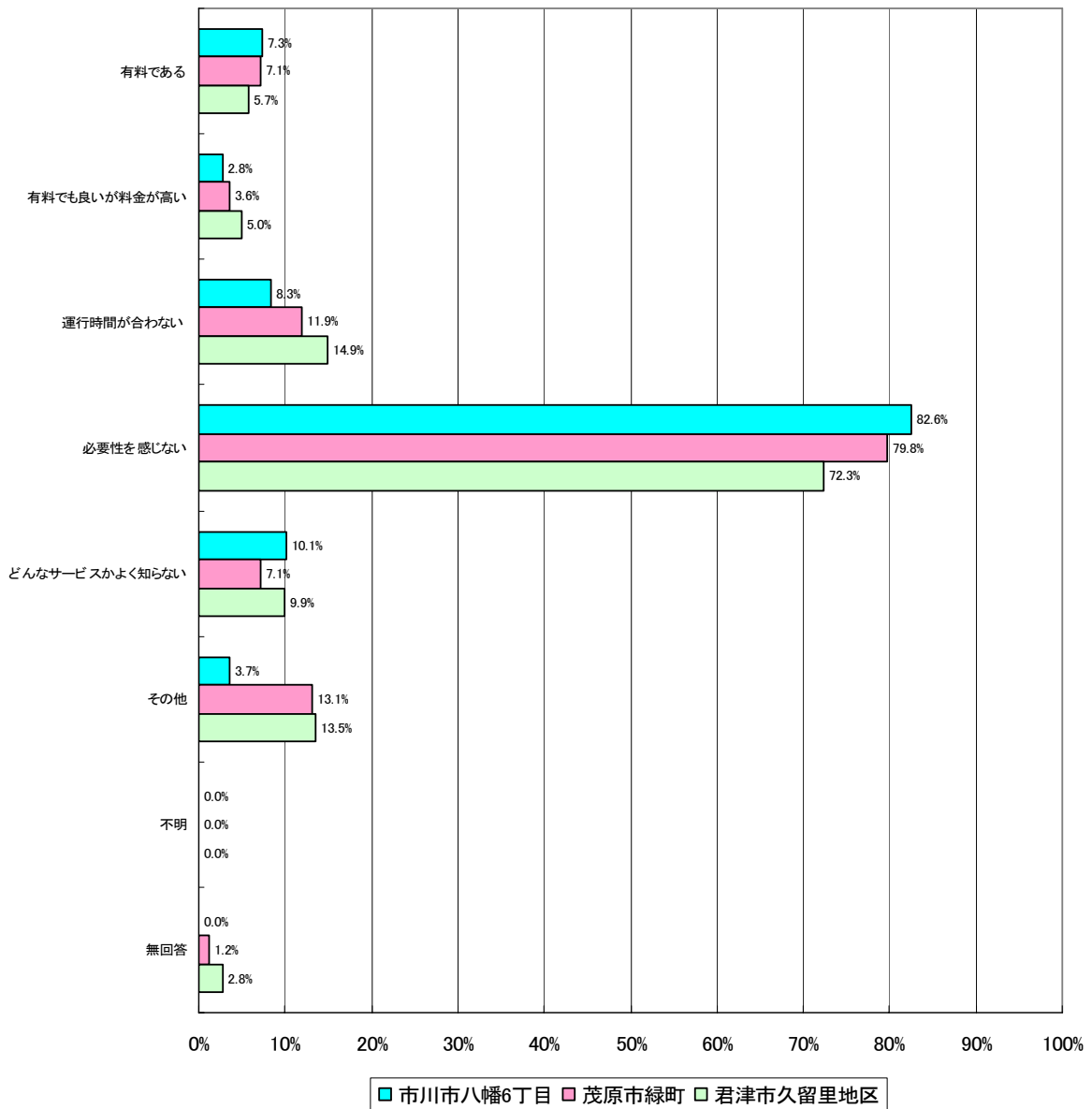


図 3.22 送迎サービスを利用しない理由 (複数回答)

⑤地域の住民やNPOなどが運営する、食料品や日用品を販売するお店（1つに〇）

- 利用にかかわらず「すでにある」と答えた世帯は市川地区で低く約 6%、茂原で約 14%、君津地区で約 13%となっている。
- 「利用している」または「あれば利用する」と答えた世帯は、30~45%程度となっており、3~4割程度の世帯においてニーズがあるサービスとなっている。
- 「もし、あれば利用する」と答えた世帯は市川、茂原、君津の各地区でそれぞれ約 29%、約 30%、約 39%であり、いずれの地区でも「もし、あっても利用しない」の回答を上回っている。
- 一方「もし、あっても利用しない」と答えた世帯は市川地区でやや高く約 21%、次いで茂原で約 14%、君津地区で約 7%となっており、買い物困難度に比例する結果となっている。市川地区や茂原地区では他の選択肢（大型店等）が存在することによるものと考えられる。

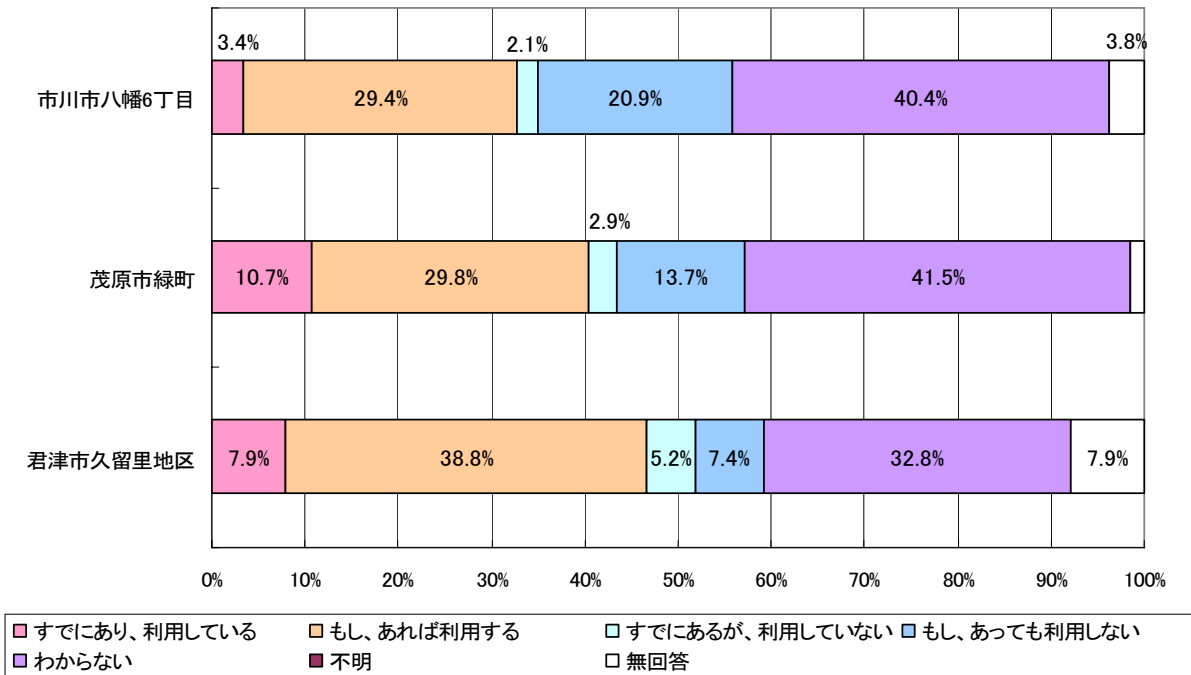


図 3.23 地域住民・NPO 等が運営する小型店舗に対するニーズ

○イ), エ) を選ばれた場合、利用しない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- 市川地区は、他地域と比べて当該サービスが「すでにある」と答えた世帯が少なく、結果、「どんなお店がよく知らない」の回答率の高さに現れていると考えられる。
- また、約13～14%が「すでにある」との回答であった茂原、君津地区の回答では「他によい店がある」、「品揃えが悪い」、「価格が高い」の割合が高い。①の小型店舗と同様に、比較対象としてスーパー・ショッピングセンター等の大型店の存在があると考えられ、小規模業態のデメリットが現れた結果となっている。
- ただし、この業態では、価格、品揃え、品質等の面で大型店に対抗することは困難であり、地域コミュニティとして運営を支えることが必要となる。
- 言い換えれば、比較対象となる大型店等が立地している地区においては、商業ベースでは成立しにくい業態であるともいえる。

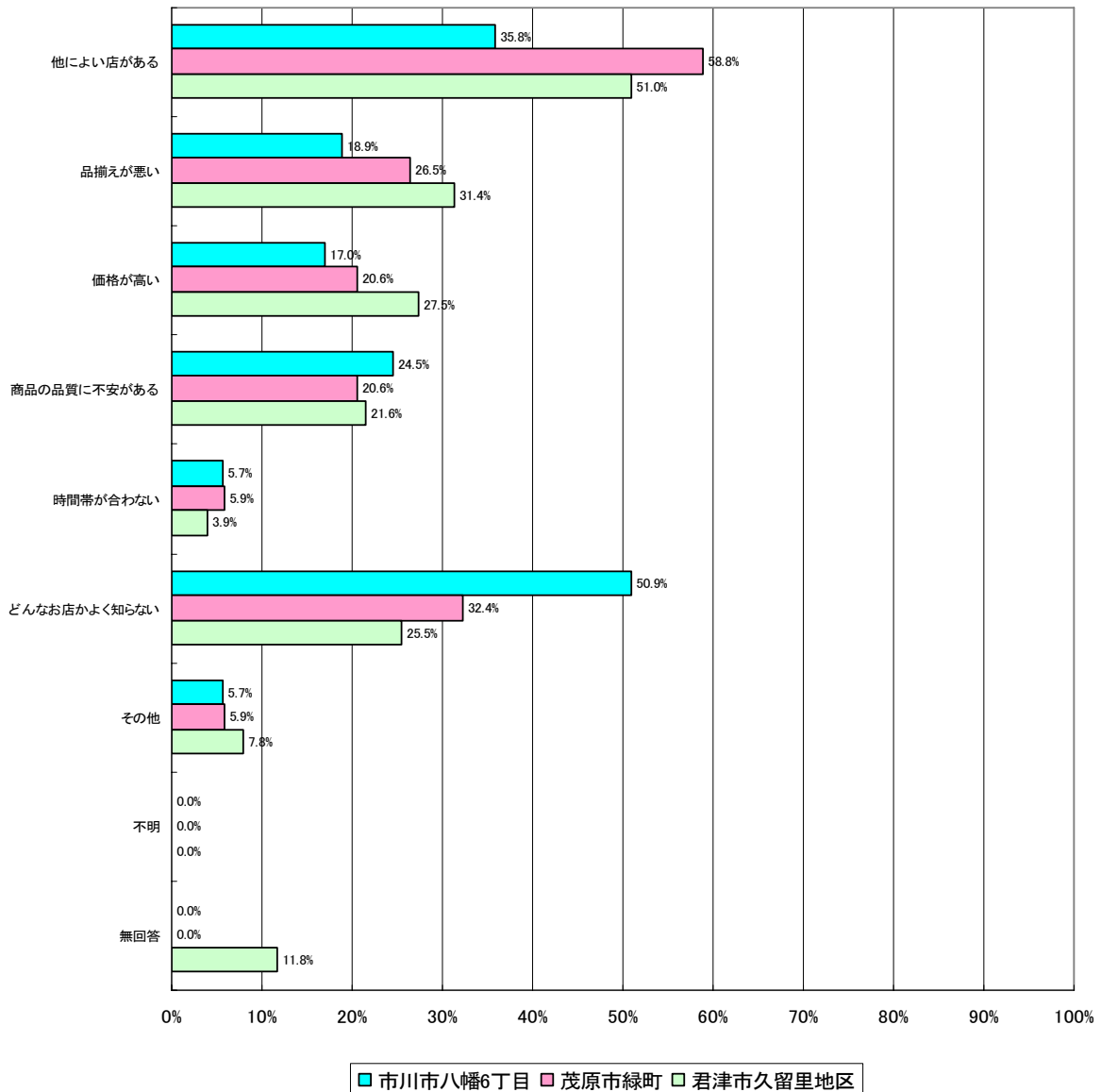


図 3.24 地域住民・NPO 等が運営する小型店舗を利用しない理由（複数回答）

⑥インターネットスーパー（1つに〇）

- 利用にかかわらず「すでにある」と答えた世帯は市川地区で高く約27%、茂原、君津地区では相対的に低く、それぞれ、約8%、約7%となっている。ただし、市川地区では「すでにあるが、利用していない」の回答が20.4%と高くなっている。
- 「利用している」または「あれば利用する」と答えた世帯は、概ね10%前後となっており、1割程度の世帯においてニーズがあるサービスとなっている。
- 「もし、あれば利用する」と答えた世帯はどの地区も低く市川、茂原、君津の各地区でそれぞれ3%、約6%、約9%で、買い物困難度に対応した結果となっている。
- ただし、いずれも「もし、あっても利用しない」と答えた世帯を大きく下回っており、インターネットスーパーに対するニーズはさほど多くないといえる。

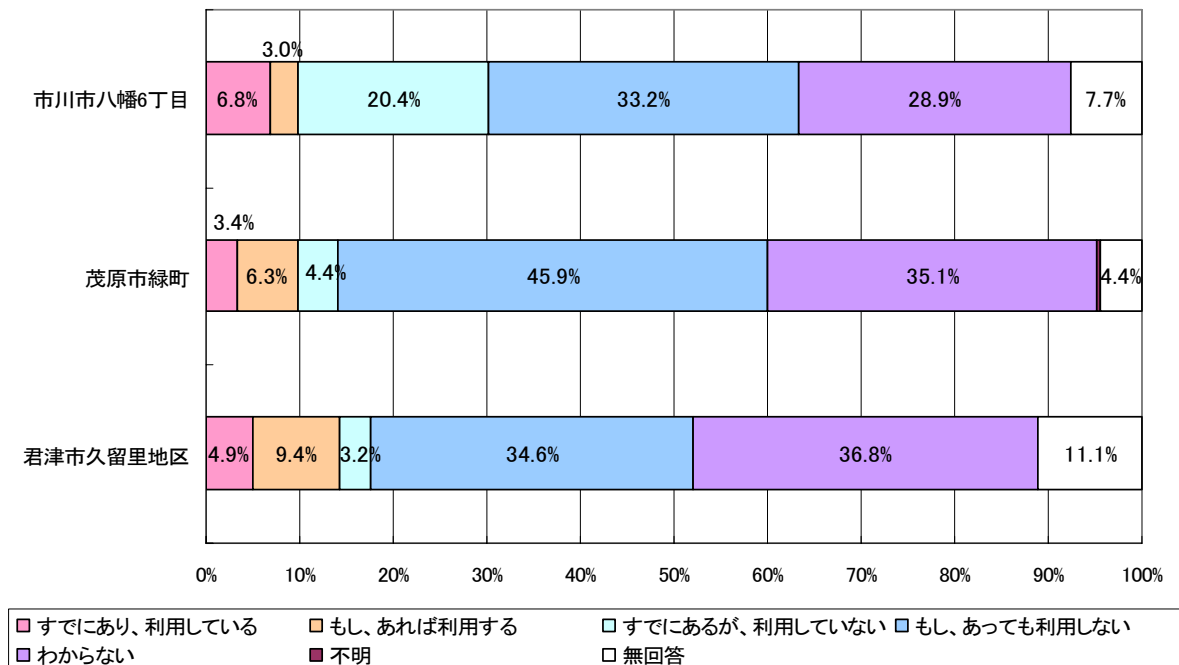


図 3.25 インターネットスーパーに対するニーズ

○イ), エ) を選ばれた場合、利用しない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- 「商品の品質に不安がある」、「利用方法が難しい」、「どんなサービスなのかよく知らない」などの割合がどの地区でも高く、ネットスーパーのデメリットが現れる結果となっている。
- 一方で、これらの課題は、一度使ってみれば解決する可能性のある課題であり、当初の導入段階をクリアすれば、利用が定着する可能性はあるといえる。(ただし、あくまでも商品やサービスが良いことが前提)

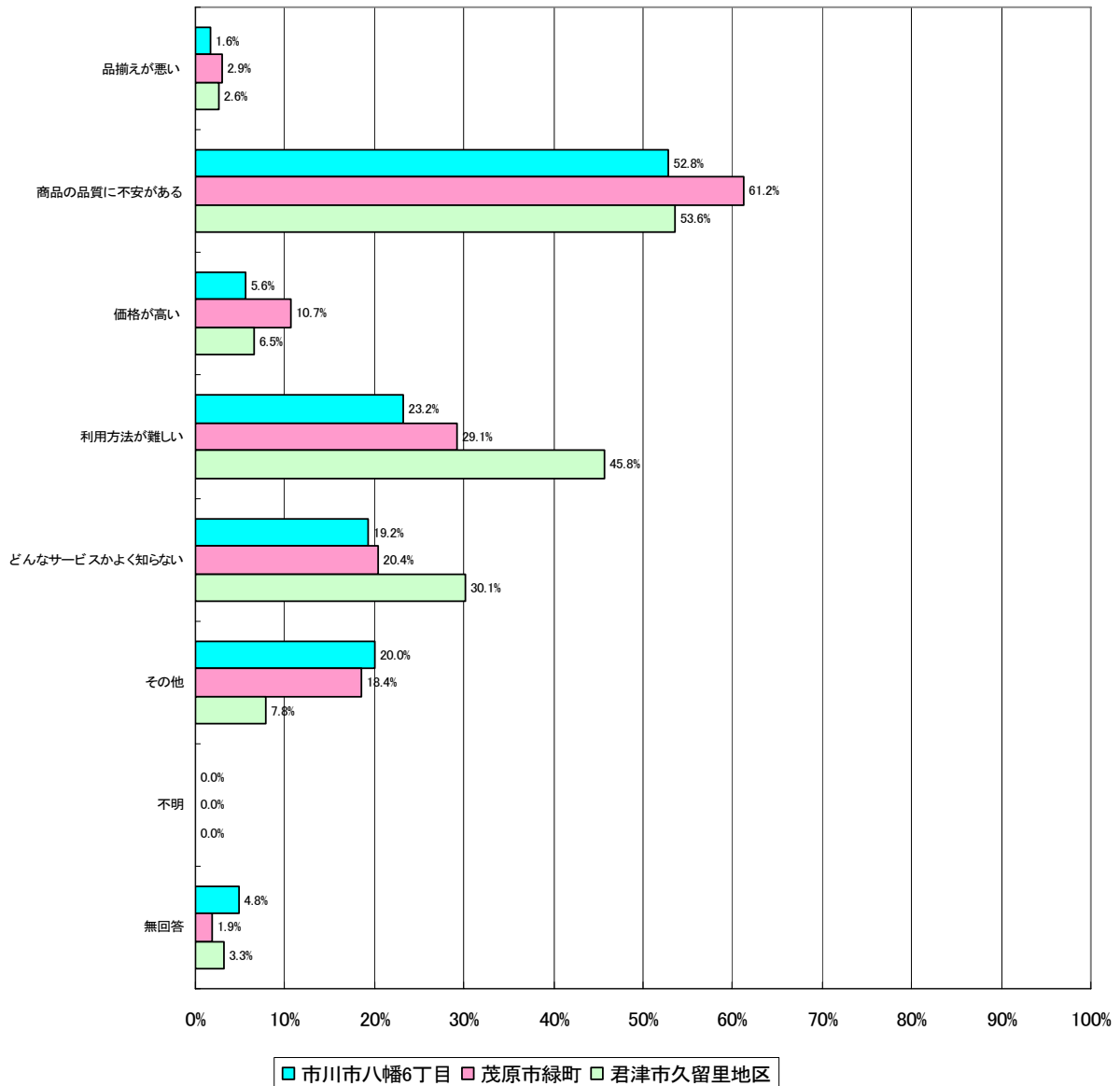


図 3.26 インターネットスーパーを利用しない理由 (複数回答)

⑦上記①～⑥の質問以外で「あったらいいな」と思うお店やサービスがあればご自由にお書き下さい。

- 大型店舗、コンビニエンスストアに対する要望が多い結果となっている。
- 一方で、「移動販売」「配達」「御用聞き」等のいわゆる買い物支援サービスに対する要望も一定数存在することから、ニーズの捉え方次第では、これらのサービスを展開できる可能性もある。

表 3.11 住民の要望するお店・サービス

地区名	あったらいいなと思うお店	あったらいいなと思うサービス
市川市 八幡6丁目 地区	<p>【業態】 スーパー（7件）、コンビニ（4件）、直売所（3件）、商店街（2件）、ドラッグストア、ホームセンター、複合商業施設、その他店舗（100円ショップ、本屋、少人数向け惣菜店）</p> <p>【要件】 家の近く、新鮮、高品質、24時間営業、新鮮な野菜、交流、安心感</p>	移動販売（2件）、商品配達（3件）、食事宅配（1件）
茂原市 緑町地区	<p>【業態】 ドラッグストア、ホームセンター、その他店舗（ディスカウントスーパー）、便利屋</p> <p>【要件】 家の近く、ホームセンターとドラッグストアは同じ敷地</p>	商品配達（4件）、御用聞き
君津市 久留里地区	<p>【業態】 スーパー（7件）、コンビニ（7件）、ホームセンター、ドラッグストア、リサイクルショップ、雑貨屋、直売所</p> <p>【要件】 家の近く（徒歩5～10分）、いろんな用途を満たせる（複合商業施設）、品揃え、24時間営業</p>	移動販売（2件）、御用聞き、配達、食事宅配・出前（4件）、デマンドバス（3件）

10) 問 10 今後、買い物環境をより良くするためには、何が重要だとお考えになりますか？
 (あてはまるものに最大3つまで○を付けて下さい。)

- 3地区とも、買い物環境をより良くするためには、①近くにお店を誘致、②多様なサービスの充実、③交通手段の改善が重要であると捉えている回答が多い。
- 特に君津地区では上記3項目の回答率が他より高く、高いニーズを示している。
- インターネットの使用支援はどの地区でも低い結果となっている。
- 都市型の市川地区に比べ、茂原、君津両地区では「家族や近所での助け合い」が重要であるとする割合が高い。

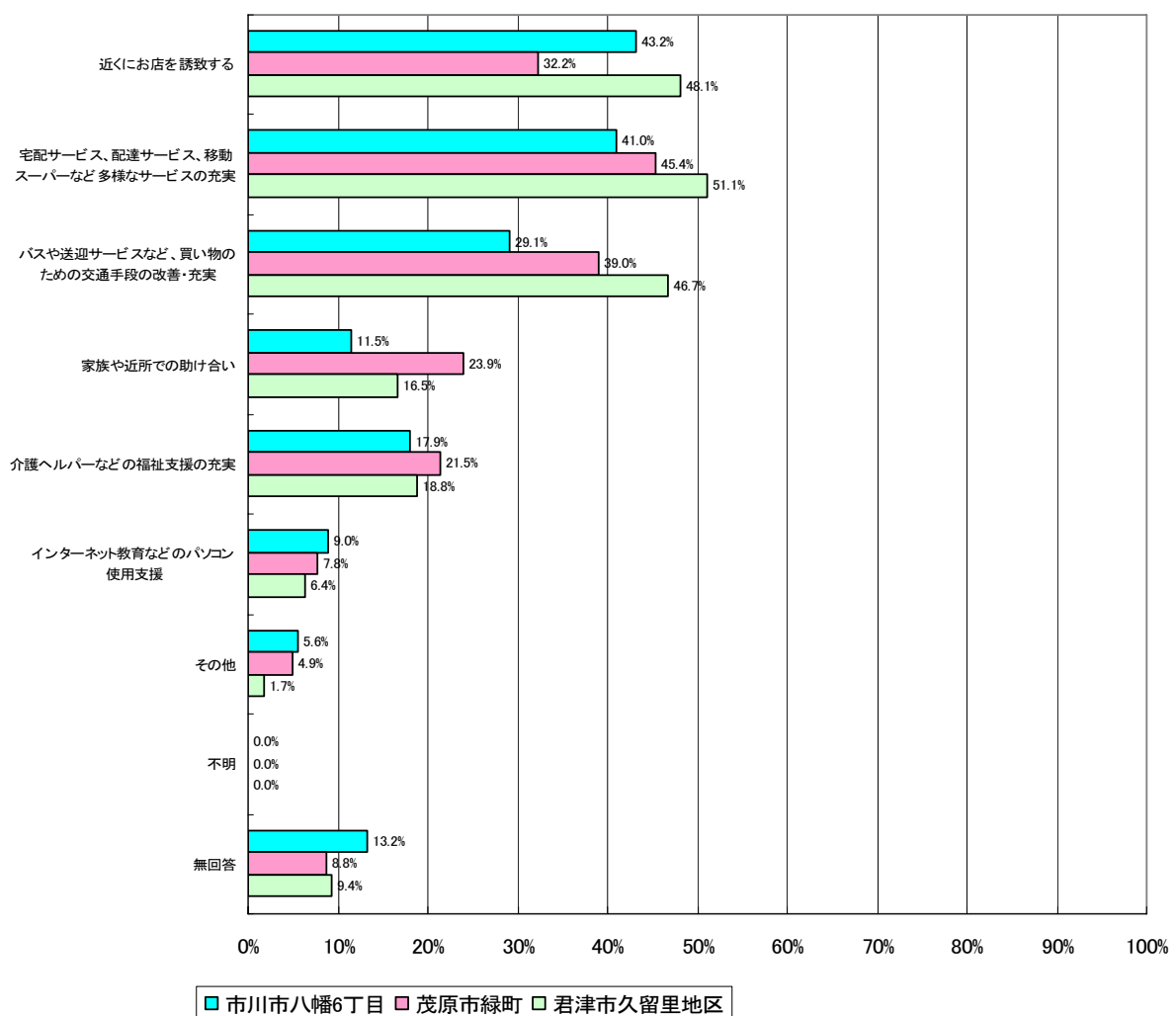


図 3.27 買い物環境改善のために必要と考えること (複数回答：最大3つ)

11) 問 11 普段、食料品や日用品の買い物において重視することについて教えてください。(あてはまるものに最大3つまで○を付けて下さい。)

- 普段の買い物で重視することは、「価格」「品ぞろえ」「品質」がいずれの地区でも高い回答率を示している。
- また、移動手段・距離で見ると市川地区では「お店が近く歩いていける」の回答率が高く、君津地区では「駐車場が充実」の回答率が高くなっている。市川地区では徒歩で買い物に行くのが日常的であり、一方、君津地区では車やバイクを買い物の移動手段とすることが前提での回答になっているものと考えられる。

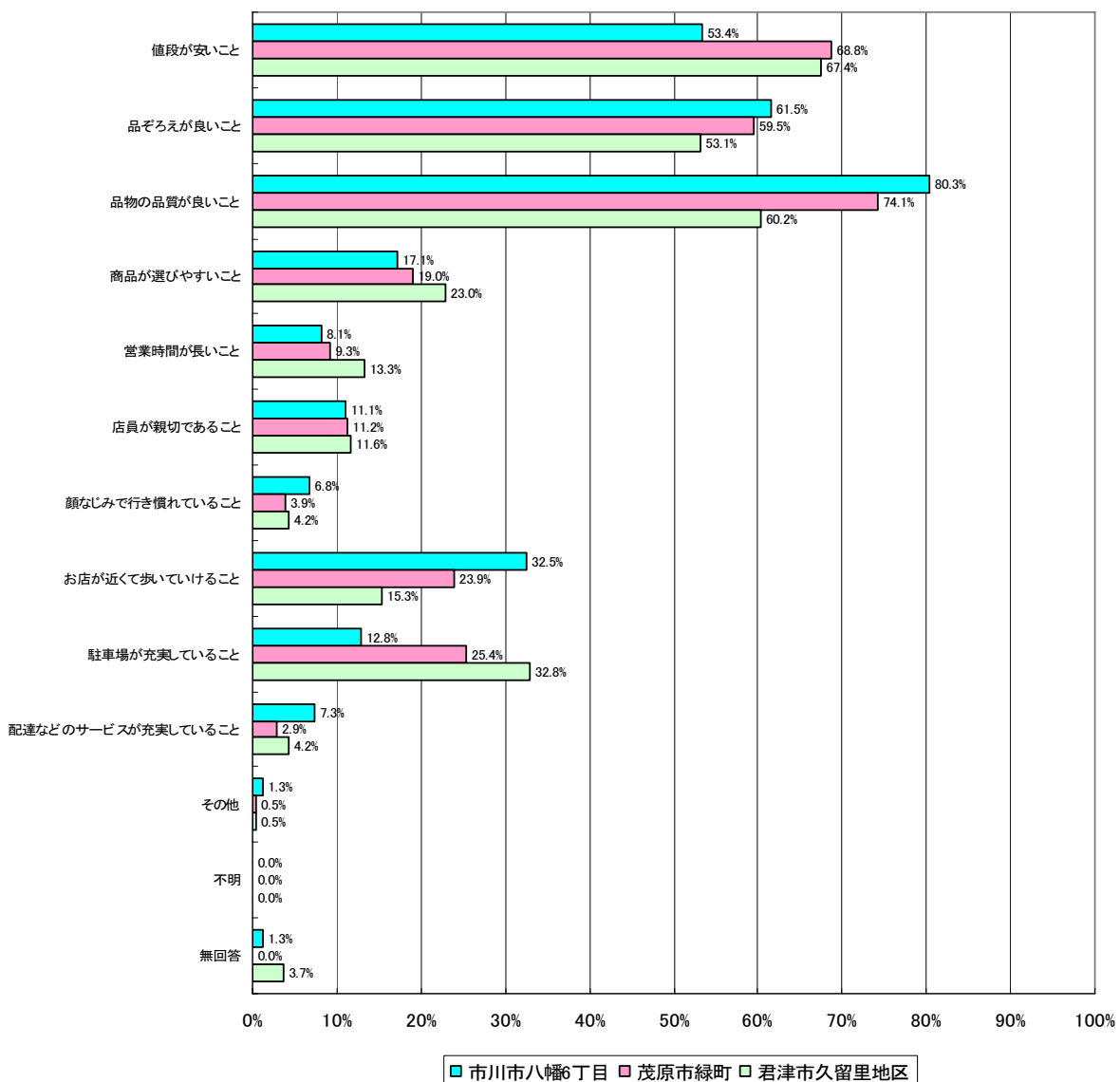


図 3.28 普段、食料品や日用品の買い物において重視すること（複数回答：最大3つ）

12) 問 12 普段の買い物は楽しいですか？（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

- どの地区でも「楽しい」、「まあ楽しい」と答えた世帯が多く、それらを合わせた割合は市川、茂原、君津の各地区でそれぞれ約76%、約72%、約62%となっている。
- この結果からみると、買い物を楽しいと捉えている割合は、買い物困難度に対応しており、買い物困難度が高い地区ほど買い物を楽しいと感じる割合が低下する傾向が現れた結果といえる。

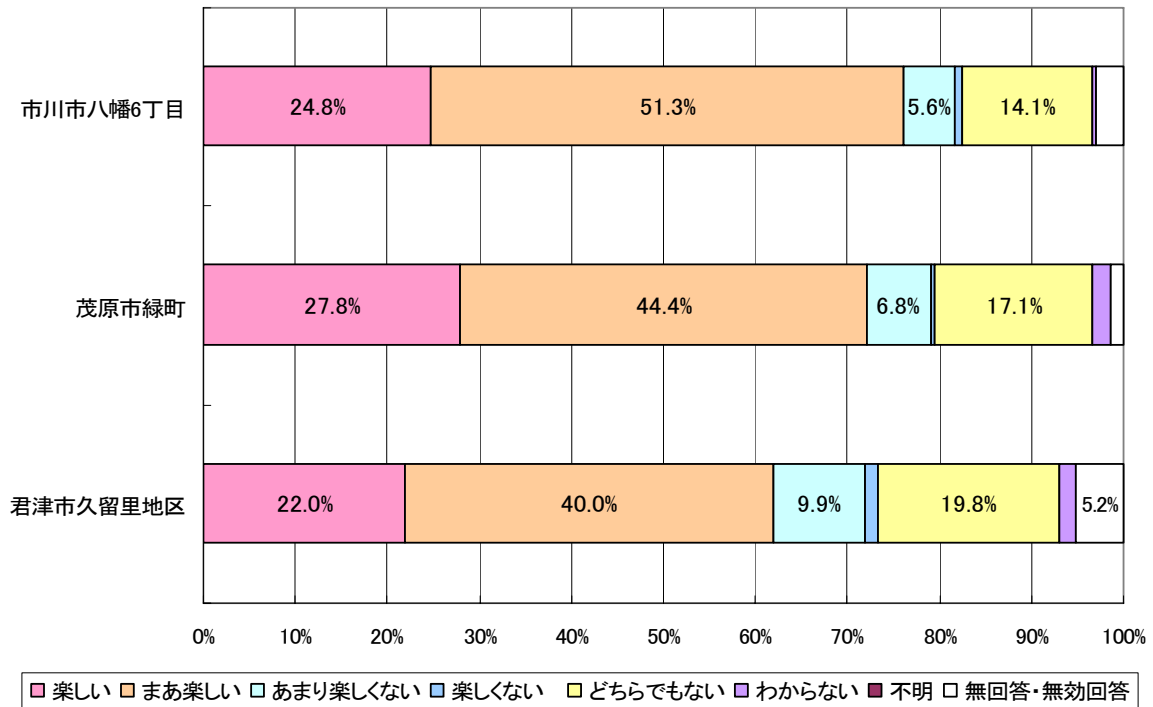


図 3.29 普段の買い物は楽しいかどうか

①ア)「楽しい」、イ)「まあ楽しい」とお答えになった方はその理由を教えてください。(あてはまるものに最大3つまで○を付けて下さい。)

- 買い物を楽しいと感じる理由としては、回答率が高い順に「買い物行動（商品を見たり選んだり）」、「気分転換」、「買い物のための外出」となっている。これらの項目では地域差はほとんどなく、いずれの地区でも同様の傾向がみられる。
- 「お店で知り合いに会ったり、話をしたりするのが楽しい」の回答は地域差が現れており、市川<茂原<君津の順に回答率が高くなる結果となっており、都市部から離れるにつれ『買い物場所=交流の場』になる傾向が強いことを示唆する結果となっている。

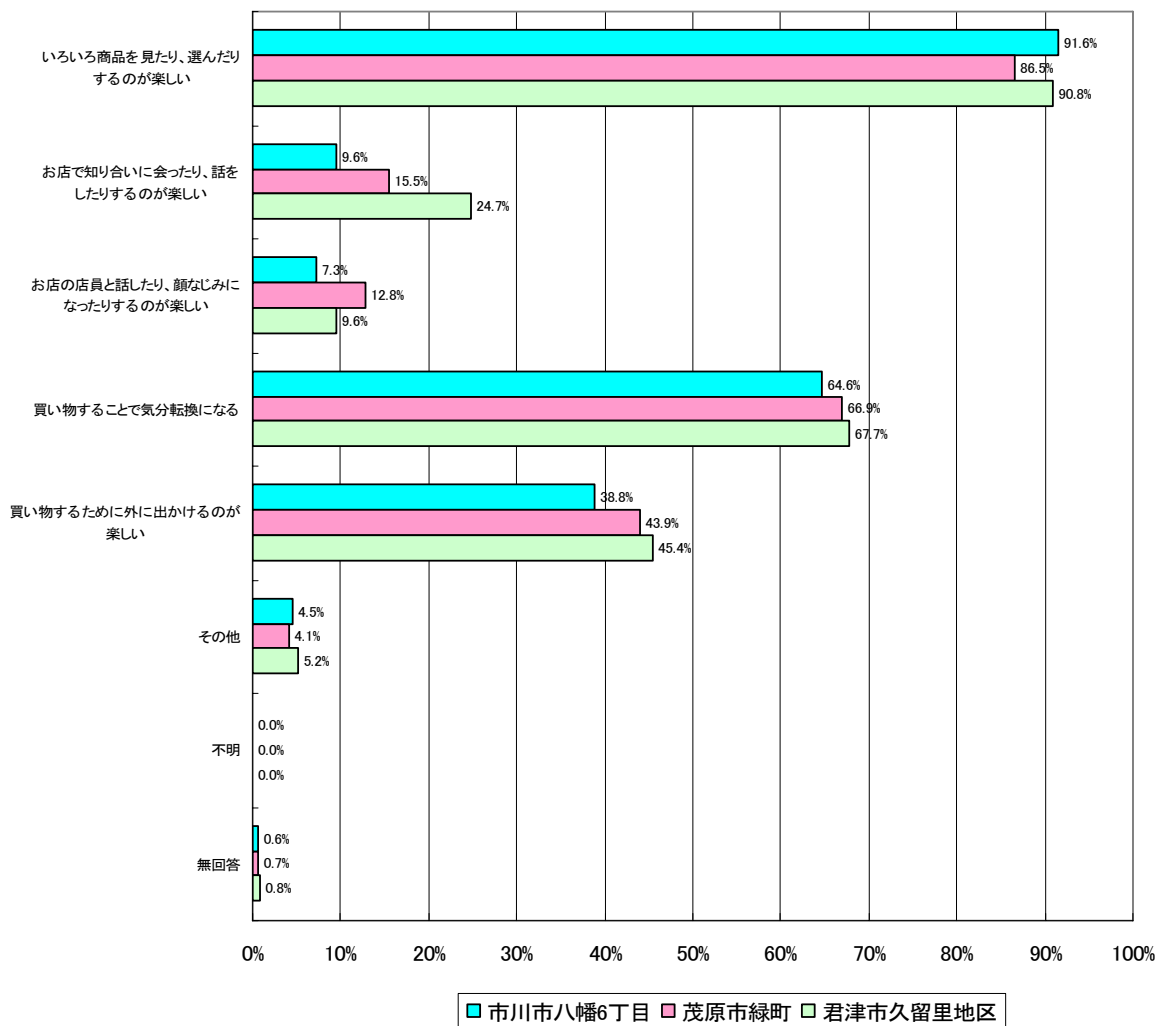


図 3.30 普段の買い物が楽しいと回答した理由（複数回答：最大3つ）

②ウ)「あまり楽しくない」, エ)「楽しくない」とお答えになった方はその理由を教えてください。(あてはまるものに最大3つまで○を付けて下さい。)

- 買い物が楽しくない理由として、全体的に回答率が高いのは、「買い物に行くのが大変だから」となっている。
- 特徴的な傾向としては、君津地区において「交通の便が悪く、お店に行くのが大変だから」の回答率が他の2地区と比較して非常に高いことである。この結果からも、君津地区では交通手段が買い物の大きなネックとなっていることがわかる。

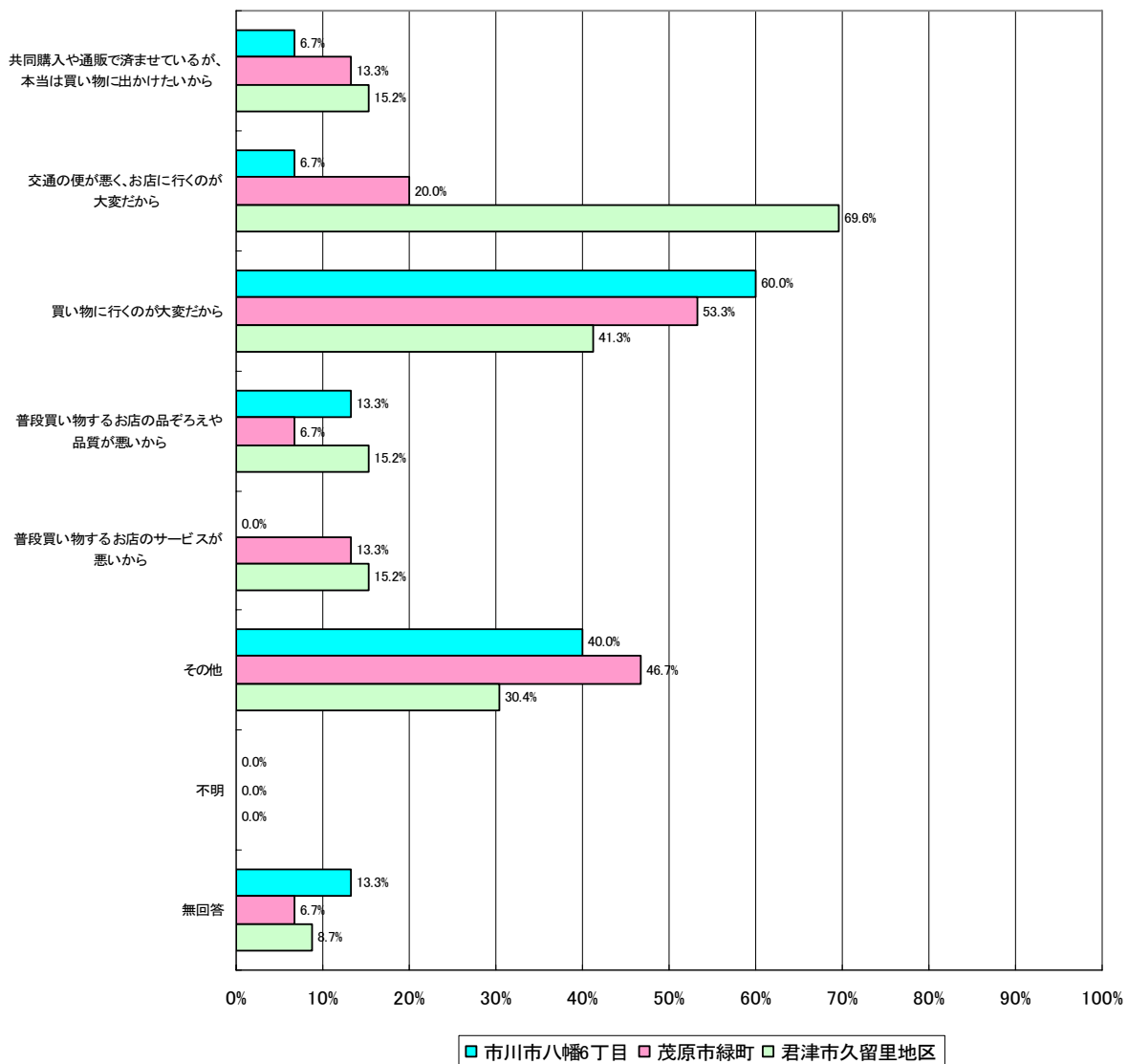


図 3.31 普段の買い物が楽しくないと回答した理由（複数回答：最大3つ）

13) 問 13 買い物環境、買い物支援サービス等について、ご意見があればご自由にお書き下さい。

- 自由意見の内容は多岐に渡るが、記述内容をカテゴリ別に集計すると「現在は自分で買い物に行けるが、将来年を取った時に不安」といった将来に対する不安に関する回答が最も多く、「高齢者等買い物が不自由な人にとっては買い物支援サービスが必要」といった間接的なニーズを含めると、全体の4~5割程度の回答率となっている。
- 他には店舗の出店や、サービスの拡充を要望する意見が多く挙げられており、いずれの意見も買い物環境の厳しい君津地区において多く出される傾向が見られる。

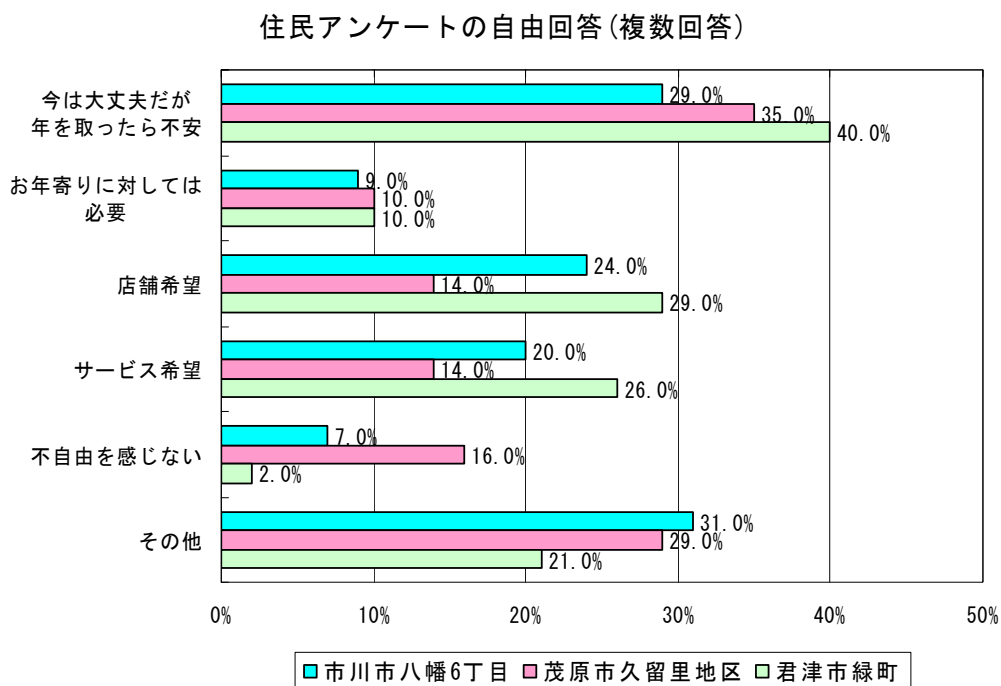


図 3.32 自由回答のカテゴリ別集計結果(重複あり)

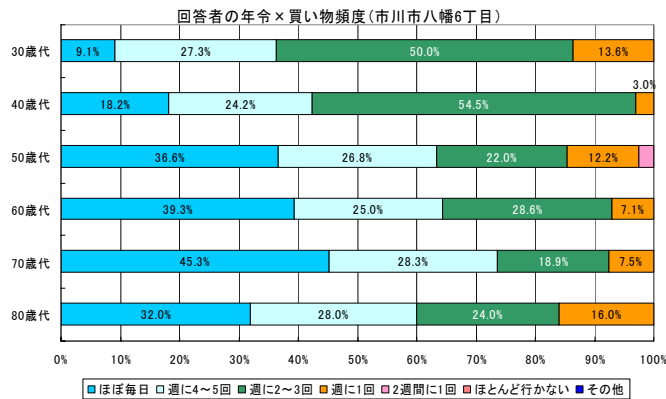
(2) クロス集計結果

1) 各地区における回答者の年齢と買い物頻度

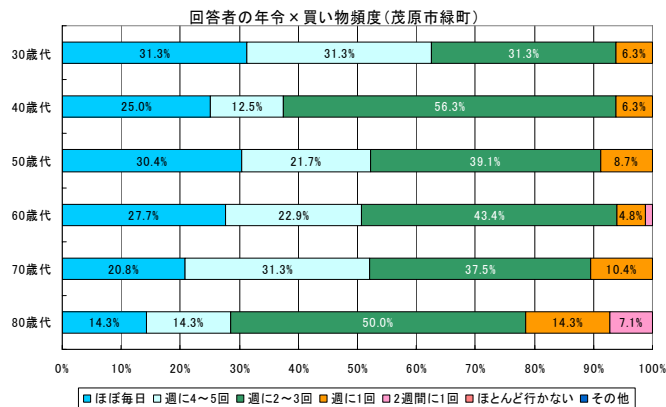
各地区の年齢と買い物頻度の関係に着目し、クロス集計を行った。

- 市川地区では、年齢層が上がると買い物頻度が高くなる傾向にある。これは、買い物環境が良好であるため、時間に余裕のある高齢層が買い物に頻繁に出かけている傾向を示唆する結果と考えられる。
- 茂原地区では、さほど明瞭な関係は見られないが、ほぼ毎日買い物に出かける割合は年齢層が上がるとともに低下する傾向にあり、市川地区ほどは買い物環境が良くないことを示唆する結果と考えられる。
- 君津地区では、年齢層が上がると買い物頻度が低下する傾向が明瞭であり、買い物環境が悪いため、高齢層が買い物に出かけにくくなっていることを示している。

◆市川地区



◆茂原地区



◆君津地区

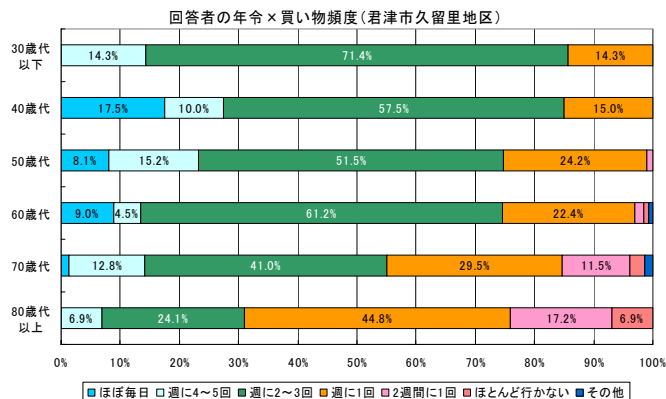


図 3.33 地区毎の年齢と買い物頻度の比較

2) 買い物支援サービスに対するニーズと回答者の属性

アンケートで質問した種々の買い物支援策（店舗・サービス）に対するニーズがある層とニーズがない層の違いを分析するため、回答者の属性（年齢・世帯構成・買い物頻度・移動手段・所要時間）とお店・サービスについてのニーズの有無について、クロス集計を行った。

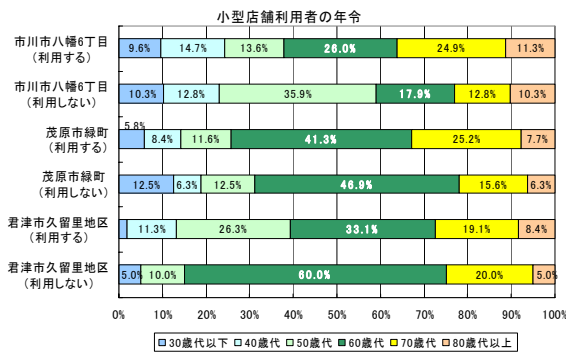
* 問 9 もし、次のようなお店やサービスがあったら利用しますか？また、利用しない場合は、その理由を教えてください。（※すでにある場合を含みます。）

【クロス集計上の「利用する」】 : 「既にあり、利用している」 + 「もし、あれば利用する」

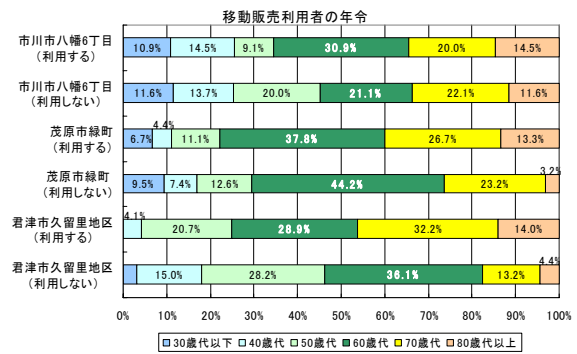
【クロス集計上の「利用しない」】 : 「既にあるが、利用していない」 + 「もし、あっても利用しない」

① 買い物支援サービス等に対するニーズと年齢の関係

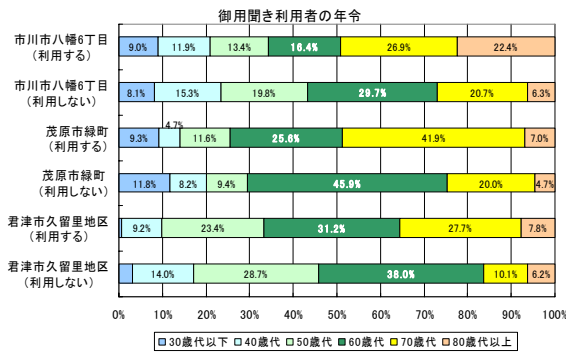
業態・サービス	傾向分析
小型店舗	<ul style="list-style-type: none"> 市川、茂原では高齢層にニーズがある傾向 君津では、若年齢層にニーズがある傾向
移動販売	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で高齢層にニーズがある傾向
御用聞き・配達	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で高齢層にニーズがある傾向
送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で高齢層にニーズがある傾向
NPO等運営店舗	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で高齢層にニーズがある傾向
ネットスーパー	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で若年齢層にニーズがある傾向



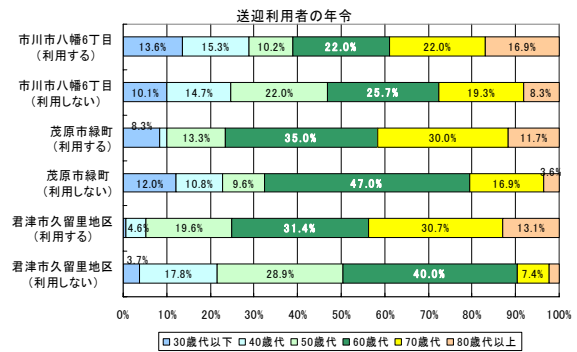
<小型店舗>



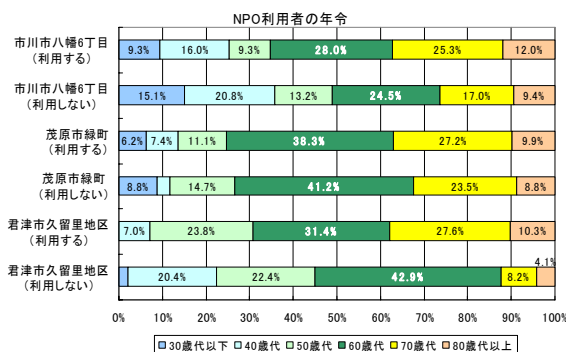
<移動販売>



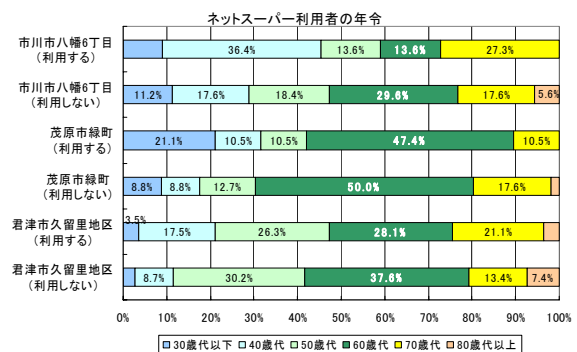
<御用聞き・配達>



<送迎サービス>



<NPO等店舗>

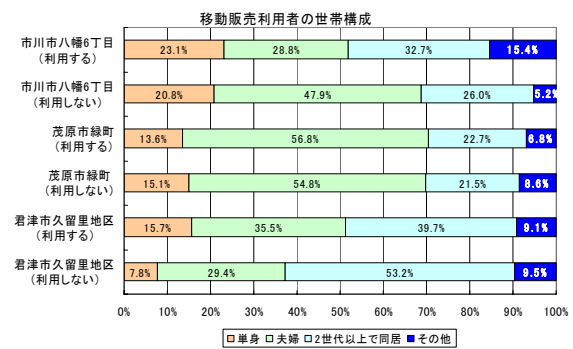
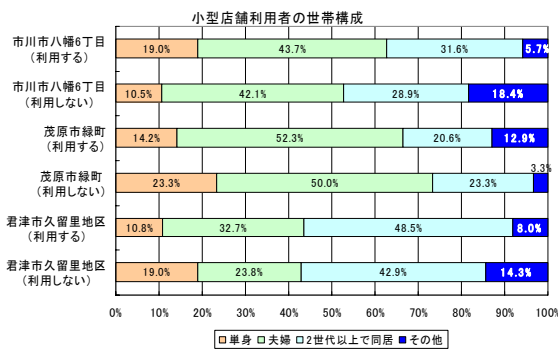


<ネットスーパー>

図 3.34 店舗・サービスへのニーズと年齢との比較

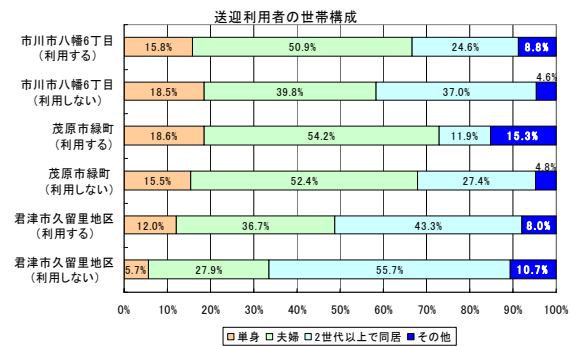
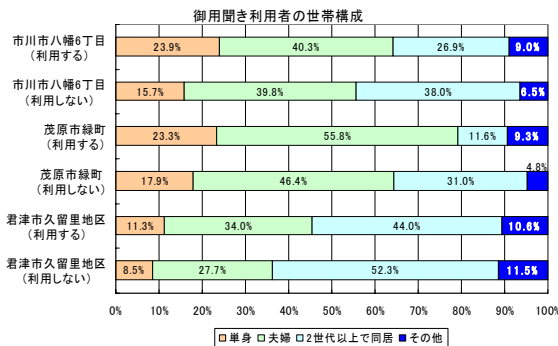
② 買い物支援サービス等に対するニーズと世帯構成の関係

業態・サービス	傾向分析
小型店舗	<ul style="list-style-type: none"> 市川では世帯規模が小さい層にニーズがある傾向 茂原、君津では、世帯規模が大きい層にニーズがある傾向
移動販売	<ul style="list-style-type: none"> 市川、茂原では世帯規模とニーズに明瞭な関係は見られない 君津では、世帯規模が小さい層にニーズがある傾向
御用聞き・配達	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で世帯規模が小さい層にニーズがある傾向
送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で概ね世帯規模が小さい層にニーズがある傾向
NPO等運営店舗	<ul style="list-style-type: none"> 市川、茂原では世帯規模とニーズに明瞭な関係は見られない 君津では、世帯規模が小さい層にニーズがある傾向
ネットスーパー	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で世帯規模とニーズに明瞭な関係は見られない



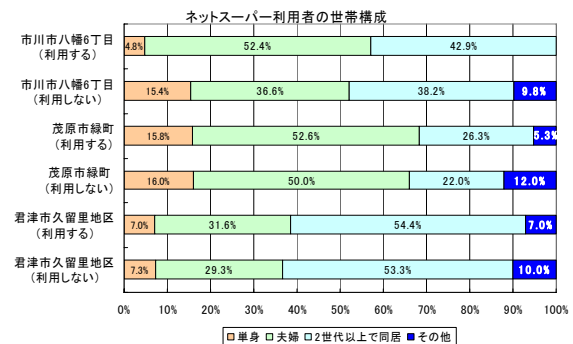
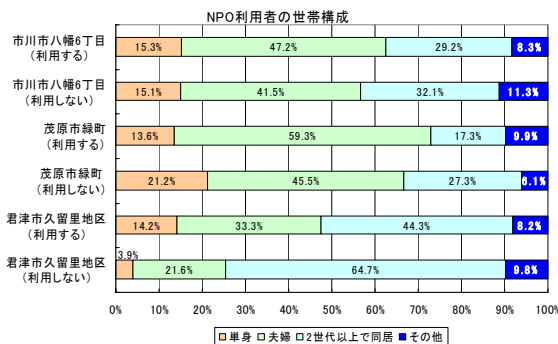
<小型店舗>

<移動販売>



<御用聞き・配達>

<送迎サービス>



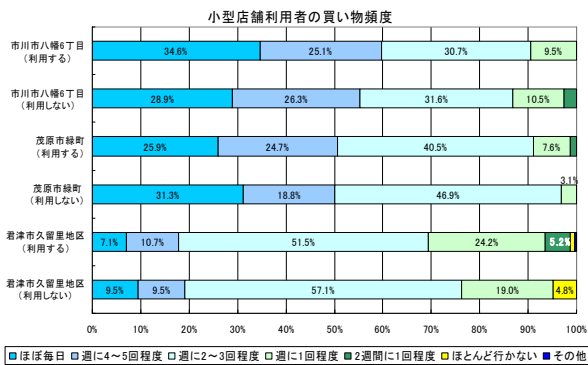
<NPO等店舗>

<ネットスーパー>

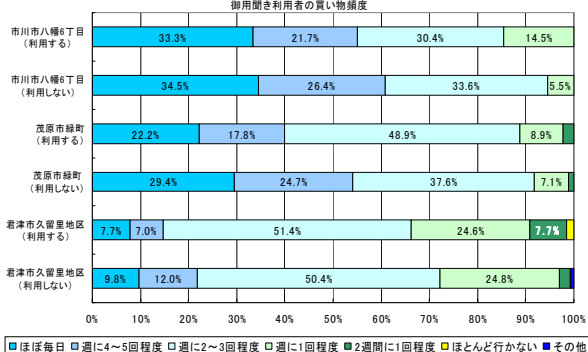
図 3.35 店舗・サービスへのニーズと世帯構成との比較

③ 買い物支援サービス等に対するニーズと買い物頻度

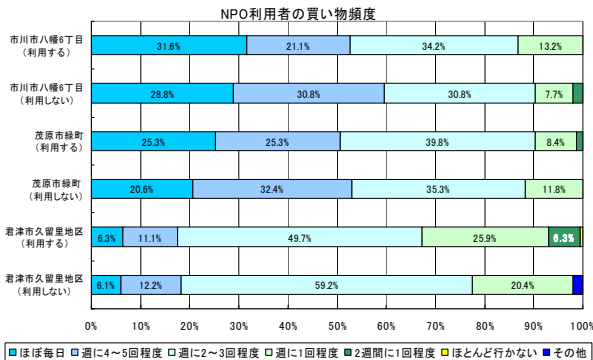
- いずれの地区・サービスにおいても、概ね、買い物頻度の低い層においてニーズが見られる傾向となっている。
- 市川地区、茂原地区では、さほど目立った関係は見られないが、移動販売、御用聞き、送迎サービス等で、やや関係が明瞭に現われている。
- 君津地区では、ネットスーパーを除く全ての業態・サービスに対して、特に買い物頻度が低い「2週間に1回程度」以上の層において、ニーズが高い結果が明瞭となっている。



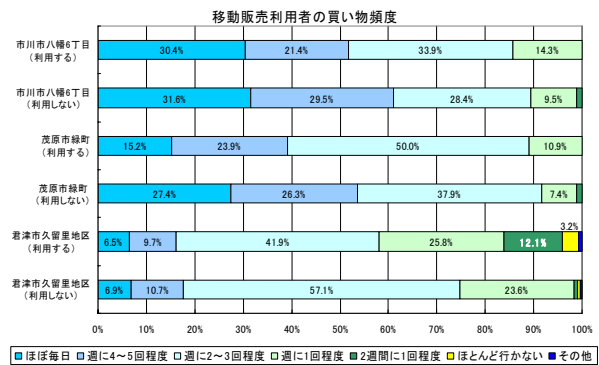
<小型店舗>



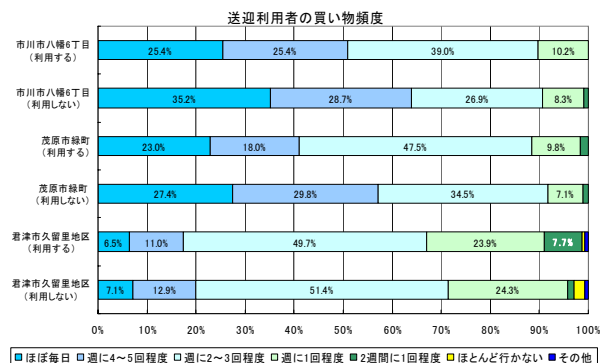
<御用聞き・配達>



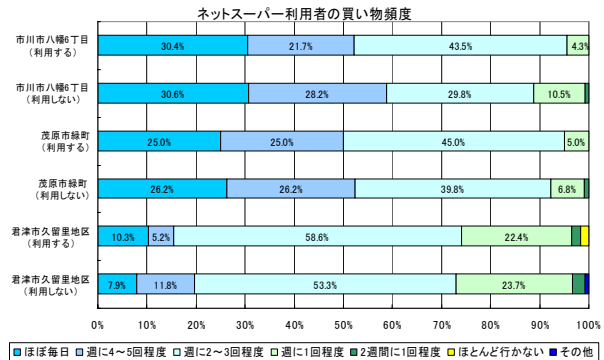
<NPO等店舗>



<移動販売>



<送迎サービス>

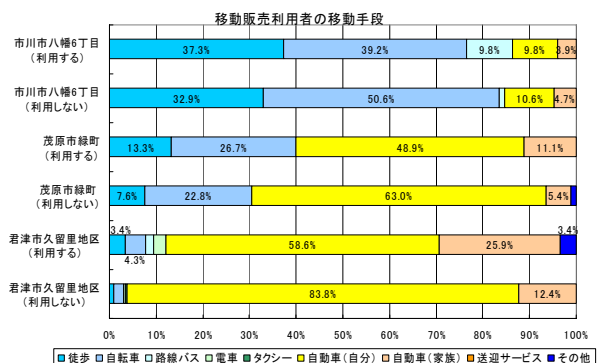
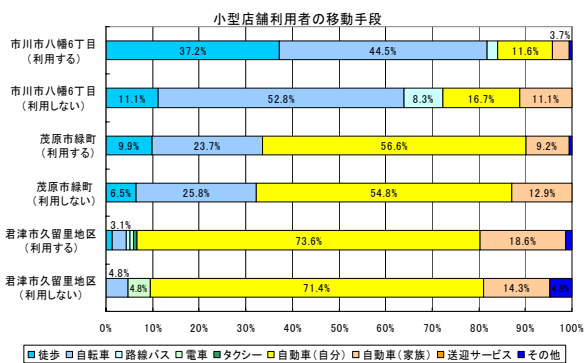


<ネットスーパー>

図 3.36 店舗・サービスへのニーズと買い物頻度との比較

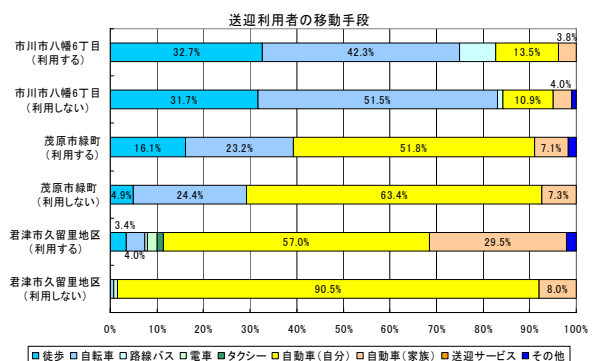
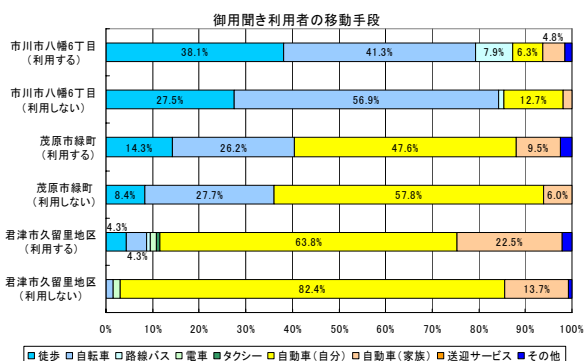
④ 買い物支援サービス等に対するニーズと移動手段の関係

- ▶ 小型店舗ではさほど明瞭な関係が見られないが、その他の業態では、概ね、自分で自動車を運転する層とそうでない層でニーズが分かれる傾向が現われており、自分で自動車を運転する層では、ニーズが低く、家族が運転する層ではニーズが高くなっている。
- ▶ 市川地区、茂原地区では、買い物環境がさほど悪くないため、一定の買い物先の選択肢があるが、君津地区では選択肢が少ないことを反映してか、他の地区よりもその関係がやや明瞭に現われている。



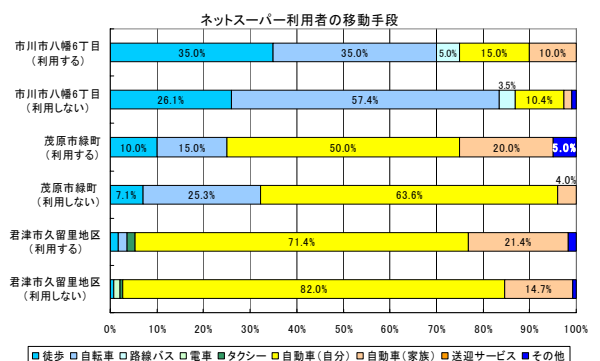
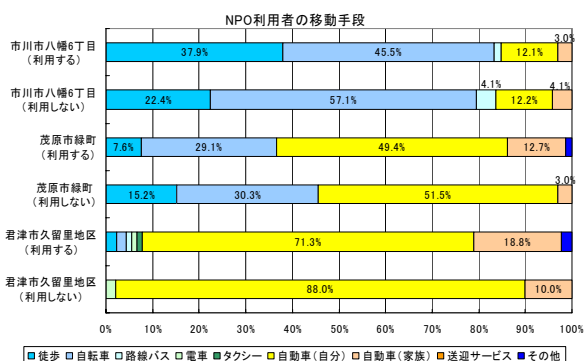
<小型店舗>

<移動販売>



<御用聞き・配達>

<送迎サービス>



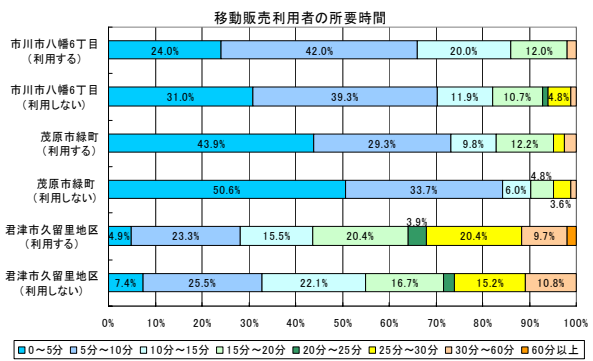
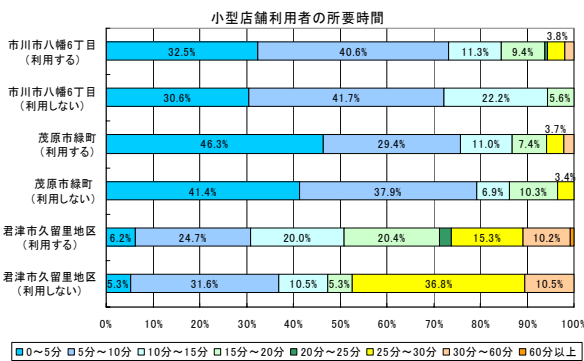
<NPO等店舗>

<ネットスーパー>

図 3.37 店舗・サービスへのニーズと移動手段との比較

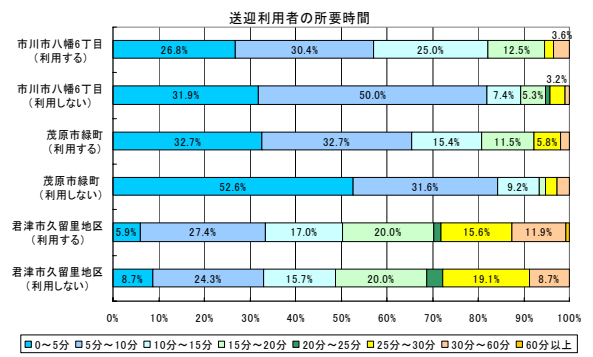
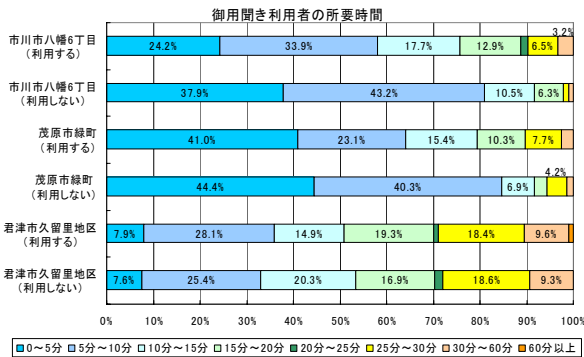
⑤ 買い物支援サービス等に対するニーズと所要時間

業態・サービス	傾向分析
小型店舗	<ul style="list-style-type: none"> 市川では所要時間が長い層にニーズがある傾向 茂原、君津では、所要時間が短い層にニーズがある傾向
移動販売	<ul style="list-style-type: none"> 市川では、所要時間とニーズに明瞭な関係は見られない 茂原、君津では、所要時間の長い層にニーズがある傾向
御用聞き・配達 送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> 市川、茂原では、所要時間の長い層にニーズがある傾向 君津では、所要時間とニーズに明瞭な関係は見られない
NPO等運営店舗	<ul style="list-style-type: none"> 市川、茂原では、所要時間とニーズに明瞭な関係は見られない 君津では、所要時間の短い層にニーズがある傾向
ネットスーパー	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地区で、所要時間の長い層にニーズがある傾向



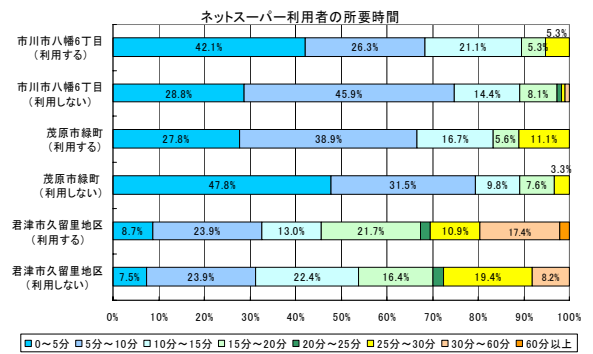
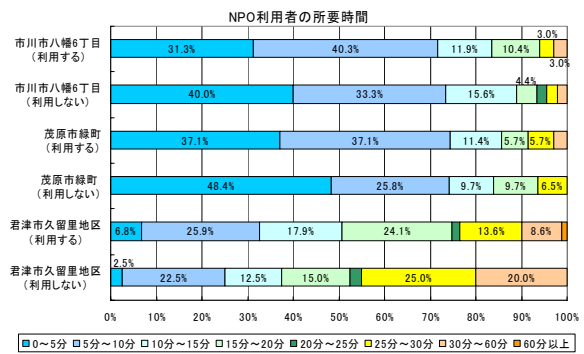
<小型店舗>

<移動販売>



<御用聞き・配達>

<送迎サービス>



<NPO等店舗>

<ネットスーパー>

図 3.38 店舗・サービスへのニーズと所要時間との比較

3.2.5 アンケート結果の全国事例との比較

住民ニーズ調査で得られた結果について、全国の傾向と比較するため、経済産業省が「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会」において、全国を対象として行った同様のアンケート調査の結果との比較を行った。

表 3.12 経済産業省アンケート内容

項目	経済産業省
目的	地域生活インフラの重要な要素である 日常の食料品・日用品に関する買い物 環境の実態調査
対象エリア	全国 (但し、年齢、性別、地域属性等を調整)
調査日時	2010年1月30日～2月2日
配布・回収方法	インターネット調査方式
調査数 (回答数)	1,000人 内訳 { 中心部：34% 住宅部：33% 農山間部：33%

なお、経済産業省のアンケートはインターネット調査方式を採用しており、一般に買い物弱者層が弱いといわれている IT リテラシーについては一定以上の能力を有する層の調査結果と考えられる点には留意が必要である。

また、調査時期がほぼ1年異なることにも留意が必要と考える。一般の意識調査では1年程度の差は無視できるレベルであるが、買い物弱者問題は、直近のマスコミ等でのクローズアップの度合いが著しいため、回答に影響している可能性に留意が必要である。

ここでは、今回のアンケート調査での設問のうち、内容がほぼ等しい以下の項目について比較を試みた。

- (1) 問3 普段、食料品や日用品の買い物に利用するお店やサービスについて教えてください。
- (2) 問4 普段、食料品や日用品の買い物に外に出かける頻度はどのくらいですか？
- (3) 問6 あなたのご自宅から 問5 で回答したお店（場所）までの移手段と
- (4) 所要時間について教えてください。
- (5) 問8 食料品や日用品の買い物において、以前に比べて不便になったことはありますか？
- (6) 問9 ①～⑥ もし、次のようなお店やサービスがあったら利用しますか？また、利用しない場合は、その理由を教えてください。
- (7) 問12 普段の買い物は楽しいですか？

(1) 買い物の場所

- 千葉の3地区、全国ともに最も利用するのはスーパー・ショッピングセンターでいずれも90%を上回っている。
- 個人商店の利用、生協・農協などの共同購入・宅配では、千葉の3地区が全国に対してほぼ倍の割合となっている。
- 移動販売の利用は、千葉の3地区で全国に比して高い傾向にあり、最も低かった茂原地区においても全国(0.2%)を上回っている。
- 地元の直売所の利用は市川地区が全国とほぼ同等であり、他の2地区では高い利用率となっている。

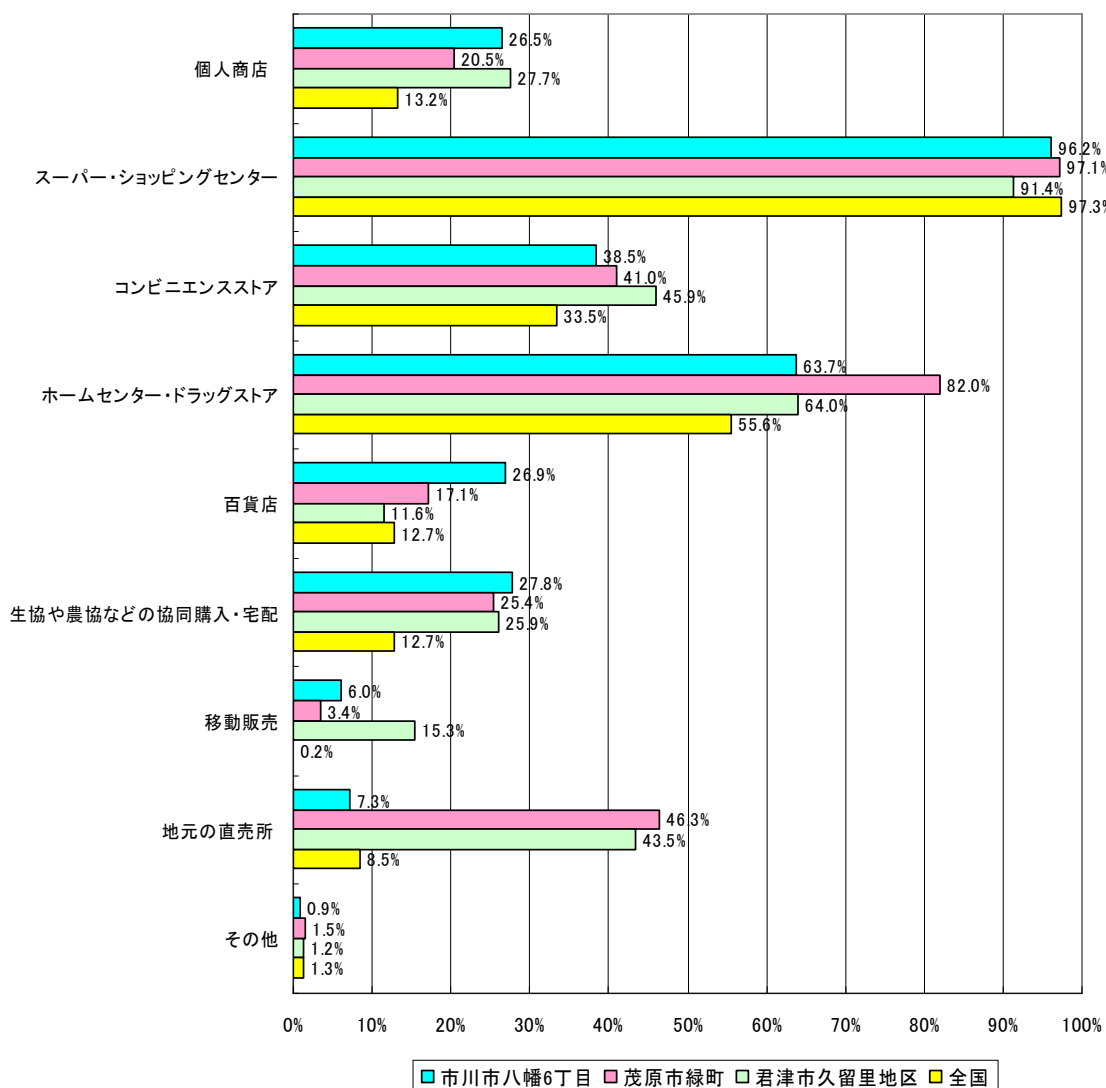


図 3.39 買い物の場所の比較 (複数回答)

(2) 買い物の頻度

- 千葉3地区と全国を比較すると君津地区の傾向が最も全国に近い結果となっている。
- 市川地区、茂原地区では全国に対して買い物頻度が高い傾向となっている。
- これらの傾向は、全国調査が地域（中心部、住宅部、農山間部）をまんべんなく網羅していることが影響している可能性がある。

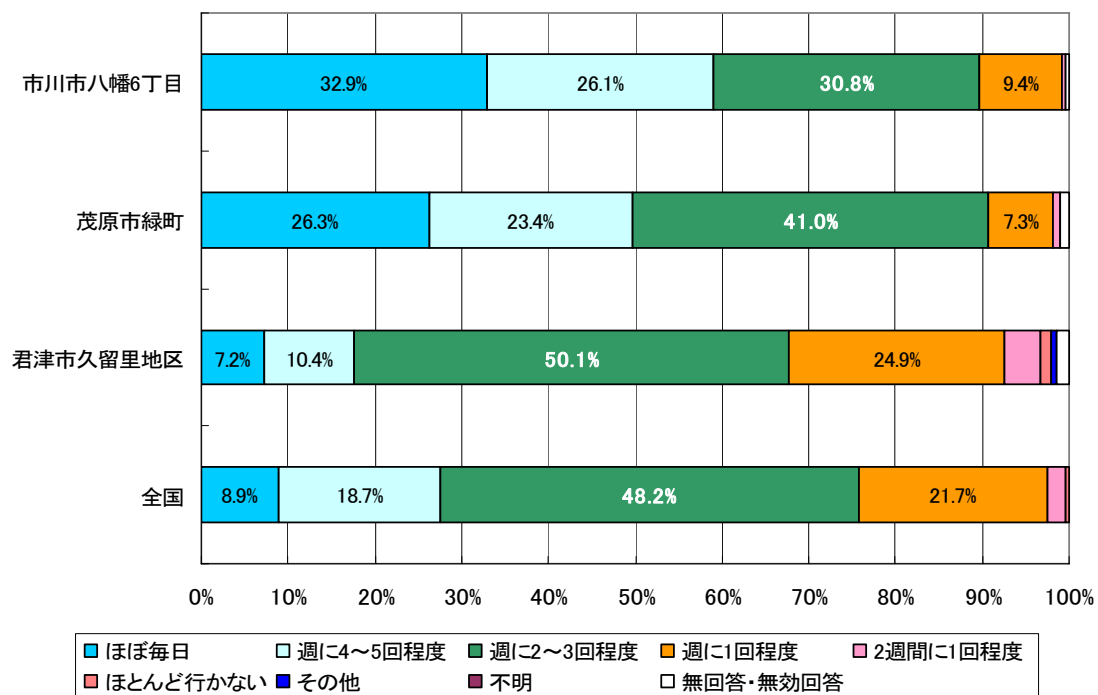


図 3.40 買い物の頻度の比較

(3) 買い物の移動手段

- 買い物の移動手段としては、茂原地区が最も全国に近い傾向となっている。全国調査の地域別（中心部、住宅部、農山間部）の分析結果が公表されていないが、全国的に見て平均的な地区といえる。
- 同様に考えれば、市川市は移動手段では便利な地区、君津地区は不便な地区に位置付けられるといえる。

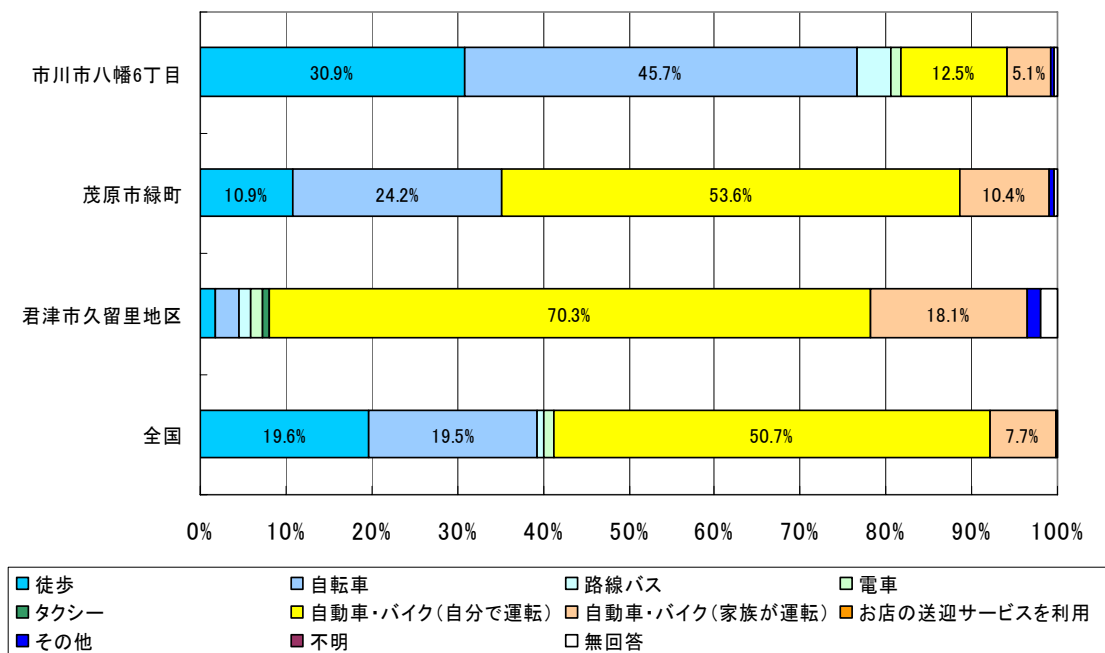


図 3.41 買い物の移動手段の比較

(4) 買い物するお店までの所要時間

- 買い物するお店までの所要時間で比較すると、徒歩 10 分以内である割合は、全国平均の 42.9%に対して市川、茂原地区はともに 65%を超えており、移動手段の面では、全国平均に比して比較的恵まれた買い物環境であるといえる。
- 一方、君津地区では、10 分以内、20 分以内ともに全国平均より低く、移動手段の面では買い物困難度が高い地区であることがわかる。

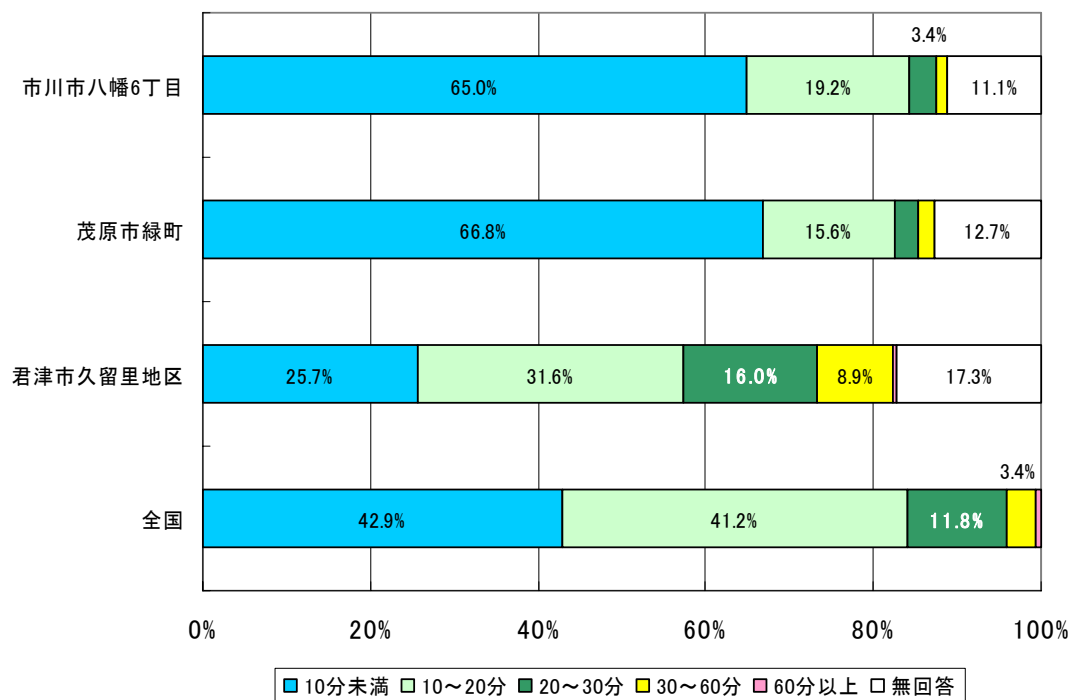


図 3.42 買い物するお店までの所要時間の比較

(5) 食料品や日用品の買い物において以前に比べて不便になったと感じる理由

- この設問では、全国向けアンケートが直前の設問で「不便になっている」「やや不便になっている」と答えた回答者に対してのみ単一回答式で質問しているのに対し、千葉3地区向けアンケートは全ての回答者に複数選択式で質問していることに留意が必要である。
- したがって、単純な比較には問題もあるが、傾向としては、「近くにあったお店がなくなった」ことに最も不便感を抱くことがわかる。

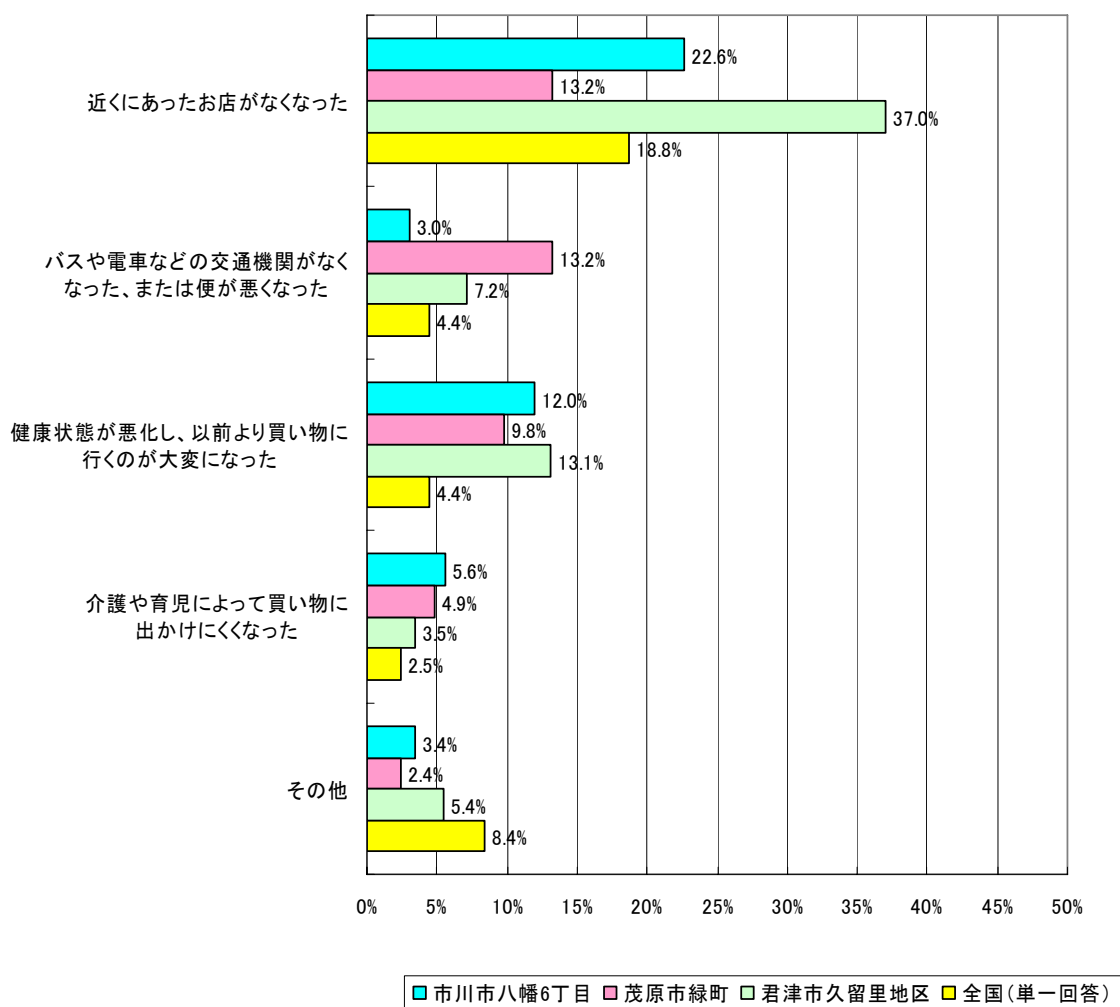


図 3.43 不便になったと感じる理由についての比較

(6) 買い物支援サービスの利用率

- ここでは買い物支援サービスである、小型店舗、移動販売、配達サービス、インターネットスーパーについて、千葉3地区と全国の「すでにあり、利用している」の回答について比較した。
- インターネットスーパーについては全国が11.3%利用しているのに対して、千葉3地区では最も高い市川地区でも6.8%と全体的に利用率が低い。これは、経済産業省のアンケートはインターネットアンケート方式であり、インターネットを利用可能な回答者に限られていることが大きく原因していると考えられる。
- 全国調査では、それでも利用率が11.3%と高くない理由として、店頭で直接商品を確認したいこと、配送に対する負担がネックになっていることを挙げている。
- 千葉君津地区では全国、市川、茂原各地区で高い小型店舗の利用率が非常に低く、一方で移動販売の利用率が他と比較して非常に高い。地域の買い物環境の特性として、店舗の立地が乏しいため、移動販売がサービスとして展開されていることがうかがえる結果となっている。

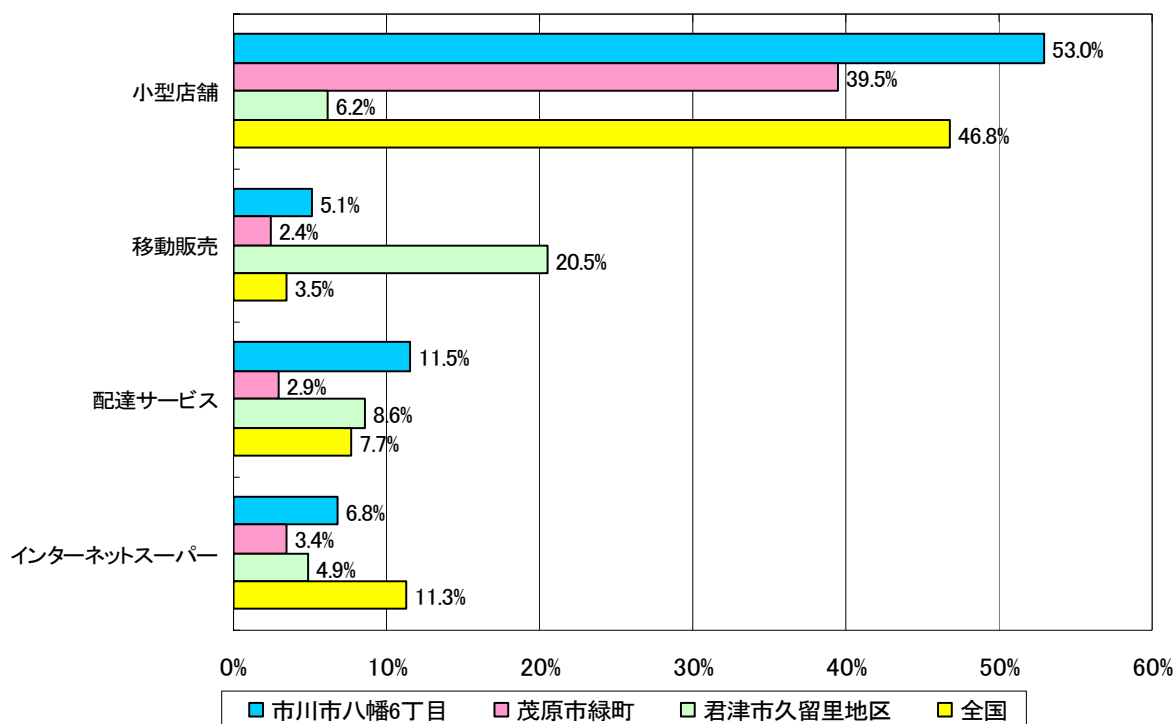


図 3.44 買い物支援サービスの利用率の比較

(7) 普段の買い物は楽しいですか？

- 買い物を「楽しい」「まあ楽しい」と感じている人の回答率は千葉 3 地区、全国ともに 60%以上を占めており、大差は見られないが、市川地区・茂原地区では、やや全国平均よりも高い割合、君津地区ではやや低い割合となっている。
- 既述の通り、この傾向は買い物困難度と対応していると考えられ、君津地区は買い物困難度の高い地区と位置づけることができる。

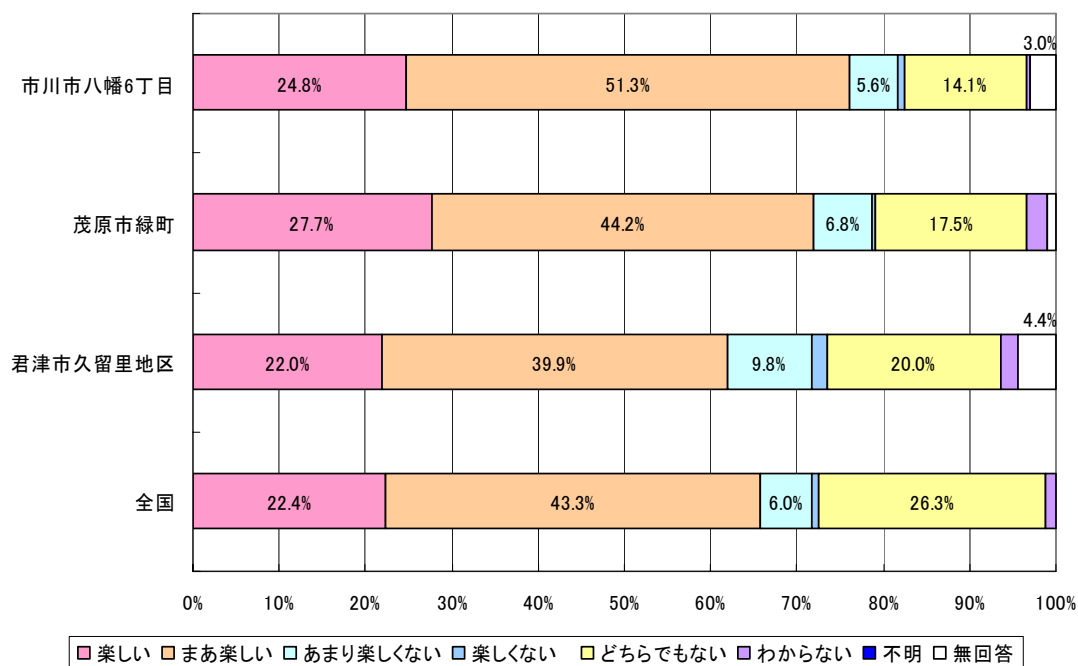


図 3.45 買い物は楽しいですか

3.2.6 住民ニーズ調査のまとめ及び今後の検討方針・方向性

(1) 住民ニーズ調査のまとめ

住民ニーズ調査で得られた結果をまとめると、概ね以下の通りである。

① 調査対象地区の買い物環境

- 今回の調査対象地区 3 地区の買い物環境を評価すると、市川地区及び茂原地区においては、比較的買い物環境は良好な状態にあり、全国平均に比べても各指標はその傾向を裏付ける結果となっている。
- 一方、君津地区においては、他の 2 地区に比べて買い物環境が悪い結果となっており、全国平均に比べても買い物環境が厳しい地区であることが分かった。
- 3 地区を買い物環境の良い順に並べると、市川地区、茂原地区、君津地区の順となる。

② 買い物支援サービスへのニーズ

- 各種買い物支援サービスへのニーズは、全般的に買い物環境が厳しい地区（特に君津地区）で高いニーズを示す結果となっている。
- 業態別に見ると、「小型店舗」が突出して高いニーズを示しており、8 割前後の層でニーズがある。
- 移動販売、御用聞き・配達、送迎サービス、NPO 店舗は、概ね 3 割前後の層で、また、インターネットスーパーは 1 割程度の層でニーズがある。
- 全体的な回答傾向からは、「自分で買い物に出かけたい」「直接商品を見て買い物したい」といった要望が読み取れる結果となっている。
- 一方で、買い物行動の実態や自由意見等からは、大型店での買い物を好む傾向が見られている。

③ 買い物環境改善に対する要望等

- 買い物環境の改善要望としては、「近くへの店舗の誘致」「多様なサービスの提供」「交通手段の改善」が同様に高い傾向を示している。

(2) 今後の検討方針・方向性

住民ニーズ調査結果を踏まえた、今後の検討方針・方向性を以下に整理する。

- 住民ニーズ調査を実施した結果、事業者アンケート調査等では得られなかった当該地域の事業者情報（例えば、移動販売の営業実態等）が得られた。今後、買い物弱者問題の解決に向けた検討を進めるにあたっては、住民ニーズ調査を先行することが効果的と考えられる。
- 今回、いくつかの視点で各種買い物支援サービスに対する住民ニーズの把握・分析を行ったが、今後、買い物支援サービスを展開しようとする事業者にとって、このような情報は貴重な情報となる。事業者アンケート・ヒアリングにおいても住民ニーズは事業者の欲している情報であり、今回のような調査結果を情報提供（公開）するとともに、他地区での調査や、事業者が要望する視点からの調査を今後進めていくことが有効と考えられる。